

わが家の防災メモ

いざという時に備えて、書き込んでおきましょう

地震・津波の避難場所

洪水・土砂災害の避難場所

家族の集合場所

わが家の緊急連絡先一覧

名称・氏名	住所	電話番号

役場

せたな町役場	Tel. 0137-84-5111
大成総合支所	Tel. 01398-4-5511
瀬棚総合支所	Tel. 0137-87-3311

医療機関

せたな町立国保病院	Tel. 0137-84-5321
大成診療所	Tel. 01398-4-5175
瀬棚診療所	Tel. 0137-87-2470

停電等に関すること

北海道電力 (停電情報)	Tel. 0120-895-121
--------------	-------------------

警察

事件・事故は → **110**

せたな警察署	Tel. 0137-84-6110
若松駐在所	Tel. 0137-85-1242
大成駐在所	Tel. 01398-4-5454
宮野駐在所	Tel. 01398-4-5121
瀬棚駐在所	Tel. 0137-87-3003

消防

火災と救急・救助は → **119**

せたな消防署	Tel. 0137-84-5709
大成支署	Tel. 01398-4-5401
瀬棚分遣所	Tel. 0137-87-3344



せたな町

防災ハンドブック



目次

地震・津波災害への備え	P1 - P6
せたな町全域図	P7 - P8
津波ハザードマップの見方・記載例	P9 - P10
津波ハザードマップ(瀬棚区)	P11 - P14
津波ハザードマップ(北檜山区)	P15 - P16
津波ハザードマップ(大成区)	P17 - P20
風水害・土砂災害への備え	P21 - P24
後志利別川洪水ハザードマップ	P25 - P26
土砂災害ハザードマップ(瀬棚区)	P27 - P28
土砂災害ハザードマップ(北檜山区)	P29 - P30
土砂災害ハザードマップ(大成区)	P31 - P32
災害への備え	P33 - P39
避難所一覧表	P40
指定緊急避難場所一覧表	P41 - P42

地震・津波災害への備え 1

地震への備え

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に抑えるためにも、日頃から自宅の安全対策について点検しておきましょう。住宅の耐震性に不安がある場合は耐震診断*を行い、補強等を実施しましょう。

屋外の地震対策

屋根・アンテナ



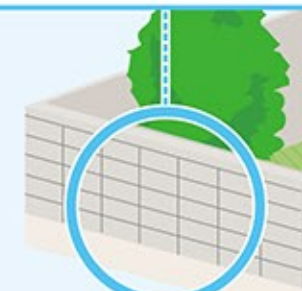
屋根のひび割れ、ずれ、はがれなどがないか確認しましょう。アンテナはしっかりと固定しましょう。

*1981(昭和56)年5月31日以前に建てられた住宅は耐震性が低いおそれがあります。

ベランダから避難することもあるので、常に整理整頓しておきましょう。

☑️ **ココもチェック!**
ベランダ

フェンスやブロック塀のひび割れ・破損・ぐらつきはないか、特に通学路・避難路に面している所はしっかり補強しましょう。



☑️ **ココもチェック!**
フェンス・ブロック塀

☑️ **ココもチェック!**
灯油タンク・プロパンガスボンベ

灯油タンク・プロパンガスボンベはしっかりと固定しましょう。

玄関まわり



自転車や植木鉢など避難の支障となるものを置かないようにし、古新聞・古雑誌など、引火しやすいものを屋外に放置しないようにしましょう。

窓ガラス



万一に備えて、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。カーテンもガラス飛散防止対策になります。

室内の地震対策

地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の散乱は逃げ遅れてしまう原因にもつながります。家具の配置や固定具合を見直し、室内の安全対策に努めましょう。

「倒さない」・「出さない」・「落とさない」の「3ないチェック」が大切です。

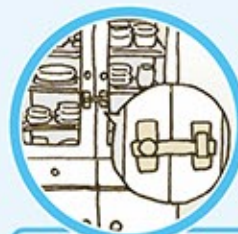
背の高い家具や本棚は、L型金具や支え棒などで固定し、重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。



支え棒

家具を配置する時は、出入口や就寝位置と重ならないようにしましょう。

家具の上には、割れやすい物を置かないようにしましょう。



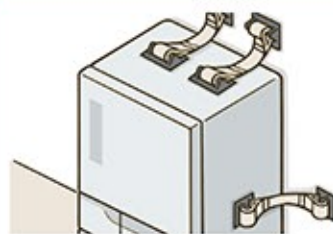
留め金具

家具は金具などで固定し、扉にガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムや留め金具をつけましょう。

カーテン・カーペット・寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

家具や本棚の下に転倒防止のシートを置き、壁にもたせ気味に配置しましょう。

冷蔵庫



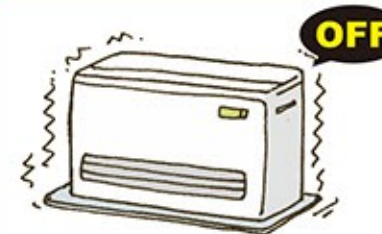
冷蔵庫ストッパーを用いて冷蔵庫の天板、または側板と壁をベルトで固定しましょう。

テレビ・パソコン



できるだけ低い位置に置き、金具や耐震マットなどで固定しましょう。

暖房機器



耐震自動消火装置付のものを選び、周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

地震・津波についての予備知識

地震の震度(気象庁震度階級)

<p>震度 1</p>  <p>屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>震度 2</p>  <p>屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には目を覚ます人もいる。</p>	<p>震度 3</p>  <p>屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人の大半が目覚ます。</p>
<p>震度 4</p>  <p>歩いている人のほとんどが揺れを感じ、眠っている人のほとんどが目覚ます。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</p>	<p>震度 5弱</p>  <p>大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。</p>	<p>震度 5強</p>  <p>物につかまらなると歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。</p>
<p>震度 6弱</p>  <p>立っていることが困難になる。固定していない家具が移動し倒れたり、ドアが開かなくなることがある。</p>	<p>震度 6強</p>  <p>はわなないと動くことができない。破損・落下する建物が多くなる。大規模な地すべりや、山体崩壊が発生することがある。</p>	<p>震度 7</p>  <p>揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。耐震性の低い建物は、傾くものや倒れるものが増える。</p>

津波から身を守るために知っておきたい注意点

津波は繰り返し来る!



津波は繰り返し襲ってくることもあり、必ずしも津波の第1波が、最大とは限りません。第2波、第3波にも注意が必要です。津波警報・注意報が解除されるまでは警戒してください。

津波のスピードは速い!



津波の速度は、海岸付近でも時速36km(秒速10m)を超えることもあるので、津波を見てから避難をはじめたのでは間に合いません。正しい情報を入力し、早めの避難を心がけましょう。

「遠く」よりも「高く」へ!



海岸の地形などによって予想された高さを超える津波が発生する場合があります。すでに浸水が始まっている時は、高台や堅固な高い建物などの可能な限り高い所へ避難しましょう。

海岸から離れる!



地震を感じなくても津波警報が発表された時は、直ちに海岸から離れ、安全な場所に避難しましょう。

チリ地震(1960年)では、津波が震源から18,000kmの距離を約1日で日本の沿岸まで到達し、大きな被害となりました。

避難に車は使わない!



東日本大震災では車で避難して助かった人もいますが、渋滞により車ごと津波被害の犠牲になった人もたくさんいました。「避難は徒歩が原則」ということを頭に入れておきましょう。

日頃の備えが重要!



津波から身を守るためには、日頃からの災害に対する備えと意識が重要です。津波ハザードマップを見ながら自宅・勤務地・学校における危険度を把握しておきましょう。

過去の災害を教訓に地震・津波に備える

北海道南西沖地震

1993年(平成5年)7月12日22時17分、北海道南西沖34kmの海底を震源とする地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード7.8、震度5を記録しています。この地震により大津波が発生し、せたな町では地震発生約6分後に4~8mの高さの津波が来襲、日本海に面した地域に甚大な被害と犠牲者を出しました。また、大津波以外にも地震の揺れにより、家屋の倒壊、農地の地割れ、道路の陥没など町内全域の広大な範囲で被害が発生しました。



北檜山区太櫓



瀬棚区本町



大成区平浜



道路被害

東日本大震災

2011年(平成23年)3月11日14時46分18秒、宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。地震の規模はマグニチュード9.0で、日本周辺における観測史上最大の地震です。この地震により、波高10m以上、最大遡上高40.1mにも上る大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。また、大津波以外にも地震の揺れや液状化現象、地盤沈下、ダムの決壊、原発事故などによって、北海道南岸から東北を経て東京湾を含む関東南部に至る広大な範囲で被害が発生し、東北の被災地では現在も復興活動が行われています。



岩手県陸前高田市の市街地

(財)消防科学総合センターより <http://www.isad.or.jp>



地震・津波から身を守るために「とるべき行動」

地震発生から 1分

地震発生!! /

まずは「身を守る」!!



大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まずは自分の身を守り、周囲の状況に応じて揺れがおさまるまで待ちましょう。

屋内では

- テーブルや机の下に入る
- 座布団や雑誌などで頭を保護する
- 窓や鏡などのガラスから離れる
- 家具から離れる
- 商業施設や公共施設などでは係員の指示に従う



屋外では

- ブロック塀などの倒壊に注意する
- 看板・ガラスなどの落下物に注意する
- 海のそばで揺れを感じたら、揺れの大きさに関わらず速やかにその場から離れ、高台へ避難する



自動車運転中は

- 徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車する
- ハザードランプを点灯し、周りの車に注意を促す



地震発生から 5分

揺れがおさまったら… /

落ち着いて「安全確保」と「状況確認」!!



大きな揺れはおおよそ1分程度とされています。揺れがおさまったら、慌てず落ち着いて行動しましょう。身のまわりの安全確保と状況確認を行い、避難指示が発令されたり、家屋倒壊や津波の危険がある場合は速やかに避難しましょう。

火元の点検

コンロやガス器具、ストーブ、タバコなどの火元を消し、火事などの二次災害を防ぎましょう。



脱出口の確保

建物の傾きによって閉じ込められないよう玄関や窓を開け、脱出口を確保しましょう。



状況確認

ガラス片や転倒家具などに注意し、家族や周りの人の安全確認・確保を行いましょう。



情報を入手する

テレビやラジオ、緊急速報メールなどで災害情報、避難情報を入手しましょう。



危険と判断したら…



急いで避難しましょう!!

避難はできるだけ徒歩で、持ち物は少なく! 隣近所に声を掛け合いましょう!! P38 避難する時の注意点へ

地震発生から 数時間

津波の危険がある場合は… / 津波の危険がなくなったら… /

高台へ避難!!



海岸から「より遠く」ではなく、「より高く」へ避難しましょう。浸水予測外でも安心しない!



警報・注意報が解除されるまで海辺や河川には近づかないようにしましょう。

消火・救護活動!!



隣近所も同じように被災しています。安否確認を行い、被害が出ている場合は協力しあって、消火・救護活動を行いましょう。

地域で協力しあって

- 行方不明者、けが人の確認
- 家屋や家具などの下敷きになっている人の救出
- けが人の救護 P35 応急処置へ
- 手助けが必要な方への協力 (高齢者・障がい者・けが人・病人・妊婦・幼児など)
- 火災発生時の消火活動



地震発生から 数日

自宅・避難所待機 /

しばらくは警戒を!!



引き続き余震に注意しながら、災害情報・避難情報に耳を傾けましょう。最低3日間は備蓄品で自活できるよう、日頃から準備しておきましょう。



引き続き余震に注意しながら、災害本部からの情報や連絡を確認しましょう。ルールとマナーを守り、お互いに助け合いながら生活しましょう。



もしも 火災が発生したら… 隣近所に声をかけ、初期消火に努めましょう

すぐに大声で知らせる

火災を発見したら、周りの人に大声で知らせましょう。鍋などを叩いて大きな音を立てるのも効果的です。



早く消火する

水や消火器のほか、座布団で叩く、布団を被せて密閉するなどして、消火にあたりましょう。

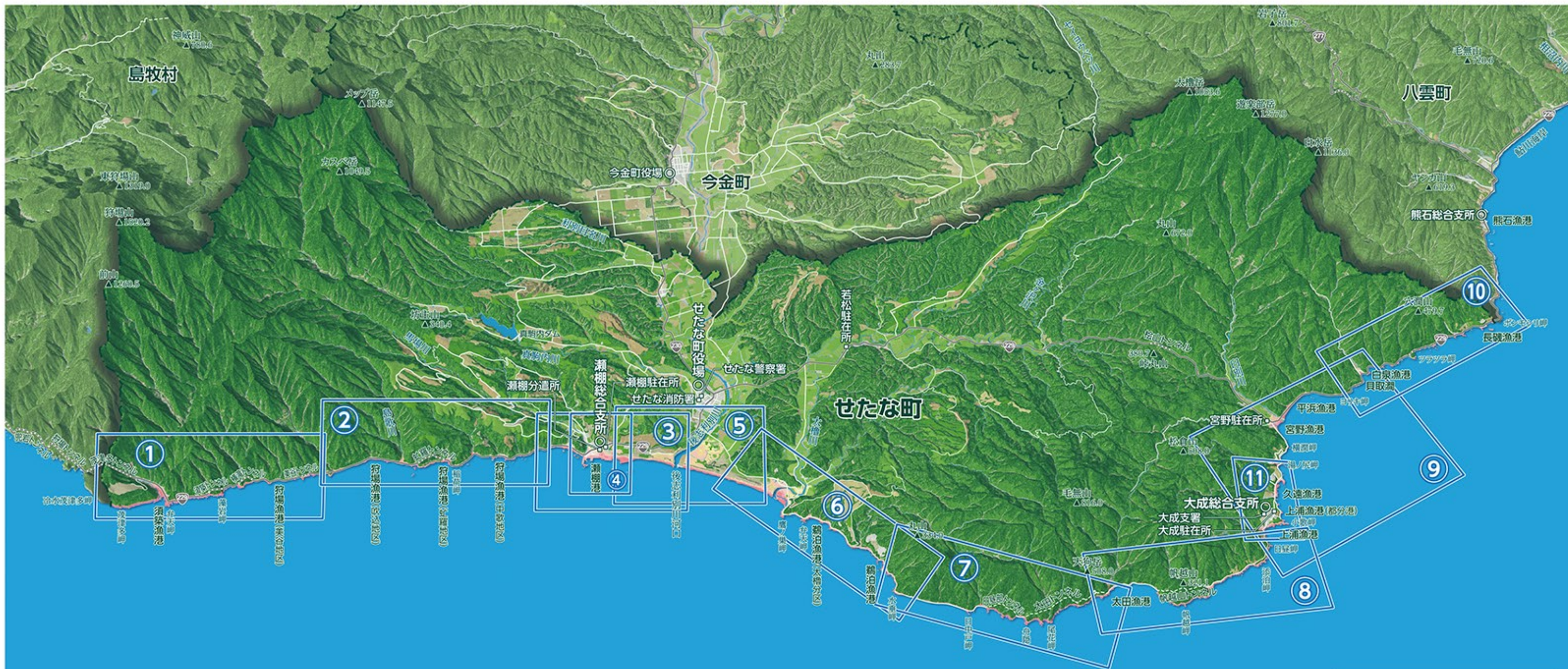


早く逃げる

出火から3分が自力で消火できる限界です。火が天井に燃え移ったら消火を諦め、速やかに避難を。



せたな町全域図



津波浸水予想区域について

この浸水想定は、北海道が平成29年2月に公表した「発生頻度は極めて低いものの、発生すると甚大な被害をもたらす最大クラスの津波」(L2)による津波浸水予測に基づいて、浸水予想地域と浸水深を示したものです。なお、地図に示した区域以外のところによっては浸水することがありますので、注意してください。

二つのレベルの津波

レベル1(L1)	概ね数十年から百数十年の頻度で発生し、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波
レベル2(L2)	概ね数百年から千年の頻度で発生し、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波

凡 例	
津波浸水予測範囲 (平成29年2月 北海道公表)	
最大浸水深(m)	
	20m ~
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	1m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	0.3m ~ 0.5m
	~ 0.3m



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平28情使_第307-GISMAP38213号)

津波ハザードマップの見方

【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を設定するものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水域以外でも浸水する可能性があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深等は、避難を中心とした津波防災地域づくりを進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意下さい。

凡 例

想定津波波源域(震源域)

■津波浸水予測範囲 (平成29年2月北海道公表)

最大浸水深(m)	
20m ~	
10m ~ 20m	
5m ~ 10m	
3m ~ 5m	
1m ~ 3m	
0.5m ~ 1m	
0.3m ~ 0.5m	
~0.3m	

●代表地点周辺で予測される最大遡上高・津波影響開始時間

地点名			
震源域	最大遡上高	±0.2m	第1波
F13	0.00m	00分	00分
F14_S12	0.00m	00分	00分
F15	0.00m	00分	00分
F17	0.00m	00分	00分
F18	0.00m	00分	00分

※図2参照
±0.2m: 津波影響開始時間
第1波: 津波第1波到達時間

※注1 最大遡上高と浸水深(図1参照)

最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。
浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
浸水域は、海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域です。

※注2 津波影響開始時間と津波到達時間(図2参照)

津波影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。
津波第一波到達時間は、海岸線において第一波の最大到達高が生じるまでの時間です。
なお、最大波は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

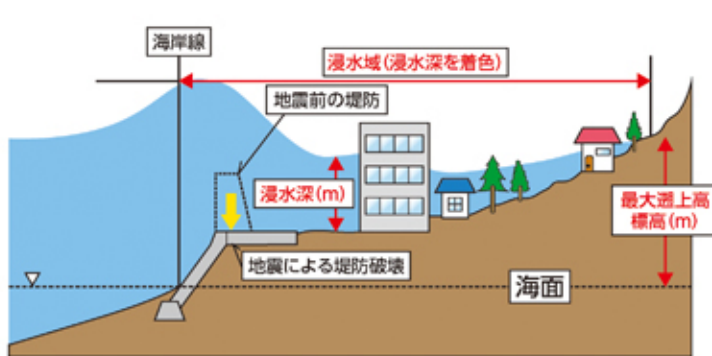


図1 最大遡上高と浸水深

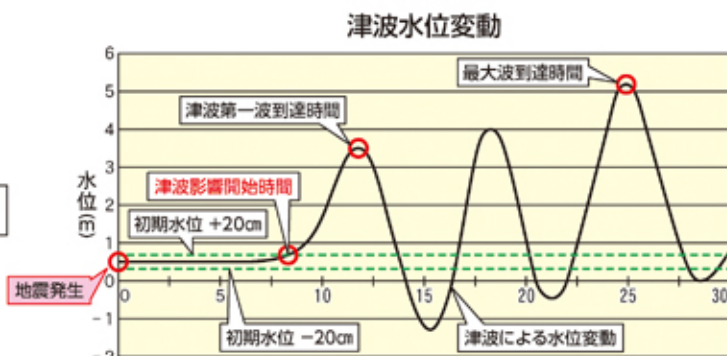


図2 地震発生からの経過時間(分)

津波ハザードマップの記載例

【標高値(00.0m)について】

土地の高さを「標高」で表し、東京湾平均海面を基準(標高0m)として測っています。

【避難場所、避難所について】

- 指定緊急避難場所**
津波、洪水、土砂災害等が発生するおそれがある場合や災害が発生した時に、緊急的に避難し住民等の安全を確保するため避難する場所です。
- 指定避難所**
災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまでの期間滞在し、または災害により自宅に戻れなくなった住民等が一時的に避難生活をする施設です。
- 福祉避難所**
避難生活が長期にわたる場合に、介護が必要な方や障がいのある方など一般の避難所での生活が困難な方が避難生活をする施設です。

瀬棚港			
震源域	最大遡上高	±0.2m	第1波
F13	9.42m	6分	8分
F14_S12	11.89m	5分	10分
F15	11.79m	5分	10分
F17	4.64m	7分	11分
F18	3.28m	12分	17分



凡 例

■津波浸水予測範囲 (平成29年2月北海道公表)

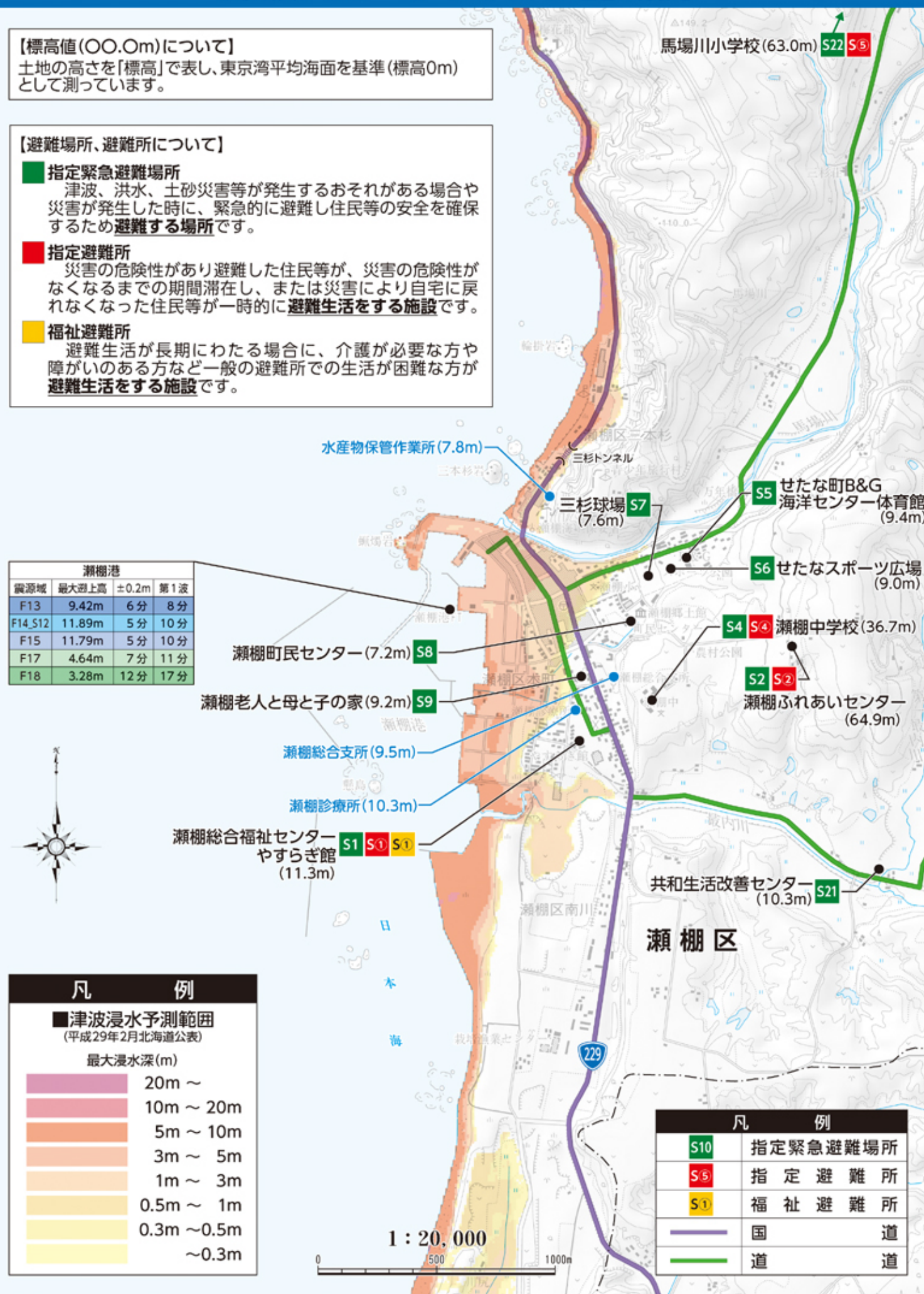
最大浸水深(m)	
20m ~	
10m ~ 20m	
5m ~ 10m	
3m ~ 5m	
1m ~ 3m	
0.5m ~ 1m	
0.3m ~ 0.5m	
~0.3m	

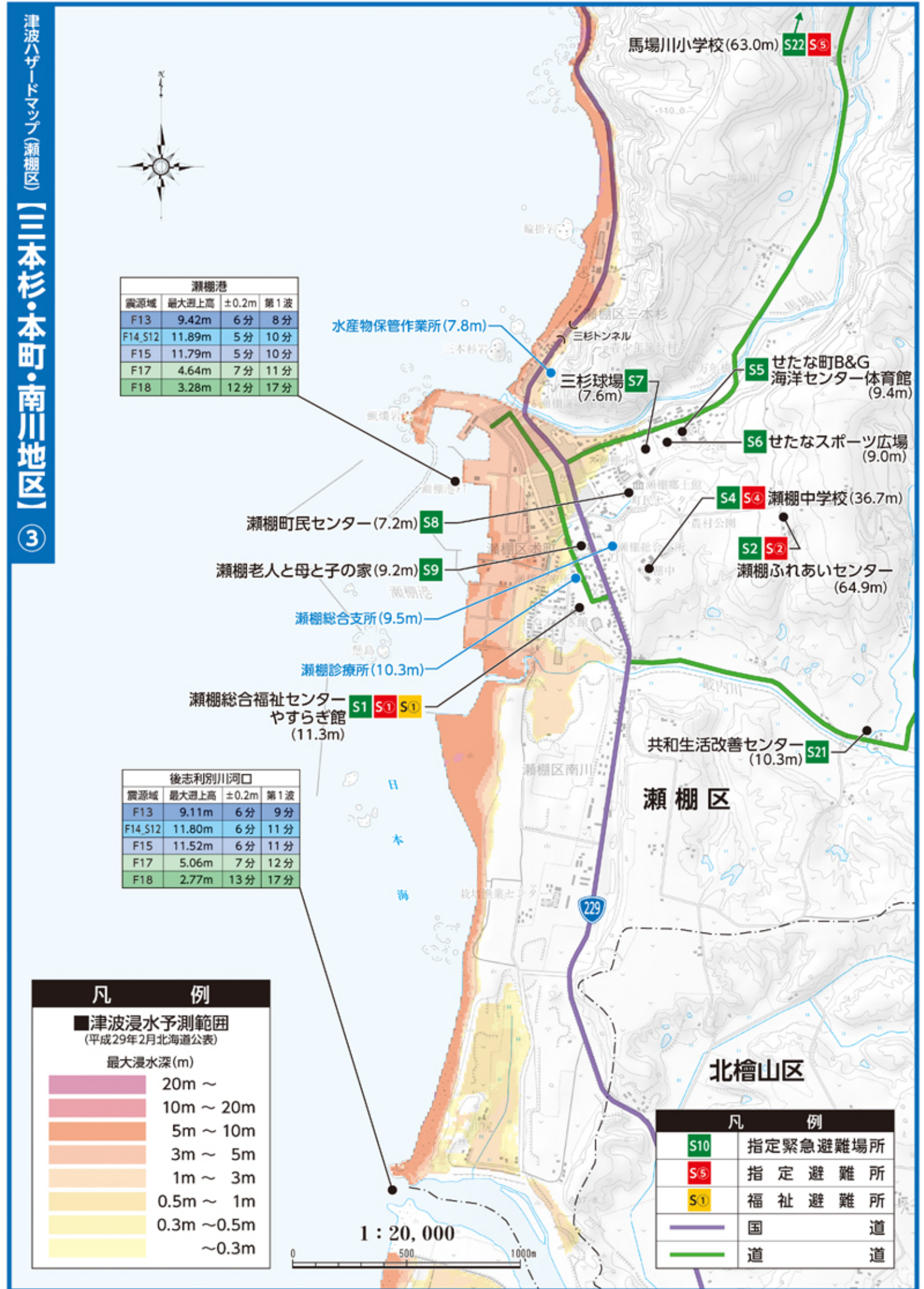
1 : 20,000



凡 例

S10	指定緊急避難場所
S5	指定避難所
S1	福祉避難所
—	国 道
—	道 道





津波ハザードマップ(瀬棚区)【市街地拡大図】④



瀬棚港			
震源域	最大遡上高 ±0.2m	第1波	
F13	9.42m	6分	8分
F14_S12	11.89m	5分	10分
F15	11.79m	5分	10分
F17	4.64m	7分	11分
F18	3.28m	12分	17分

凡 例

■ 津波浸水予測範囲
(平成29年2月北海道公表)

最大浸水深(m)

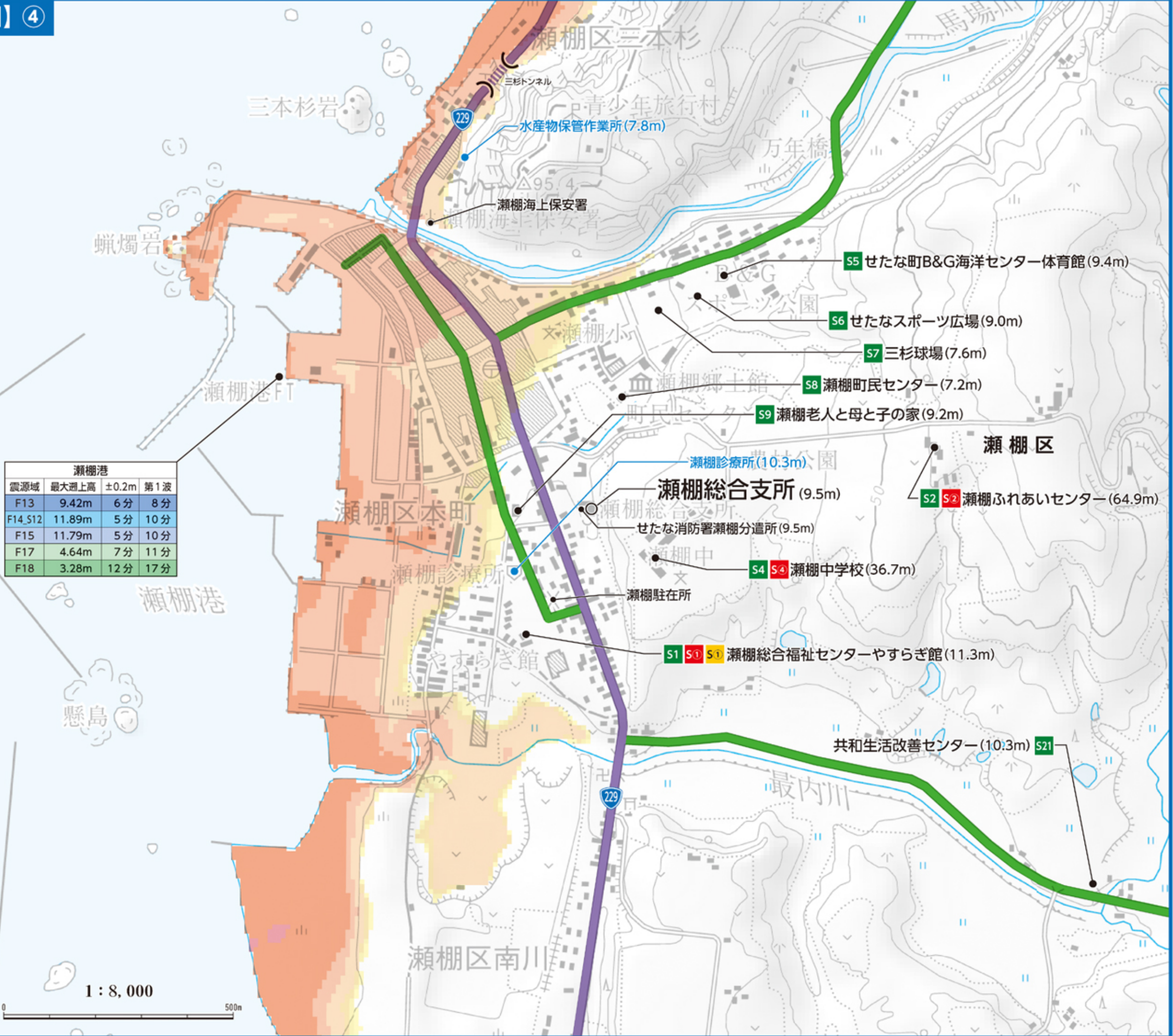
- 20m ~
- 10m ~ 20m
- 5m ~ 10m
- 3m ~ 5m
- 1m ~ 3m
- 0.5m ~ 1m
- 0.3m ~ 0.5m
- ~0.3m

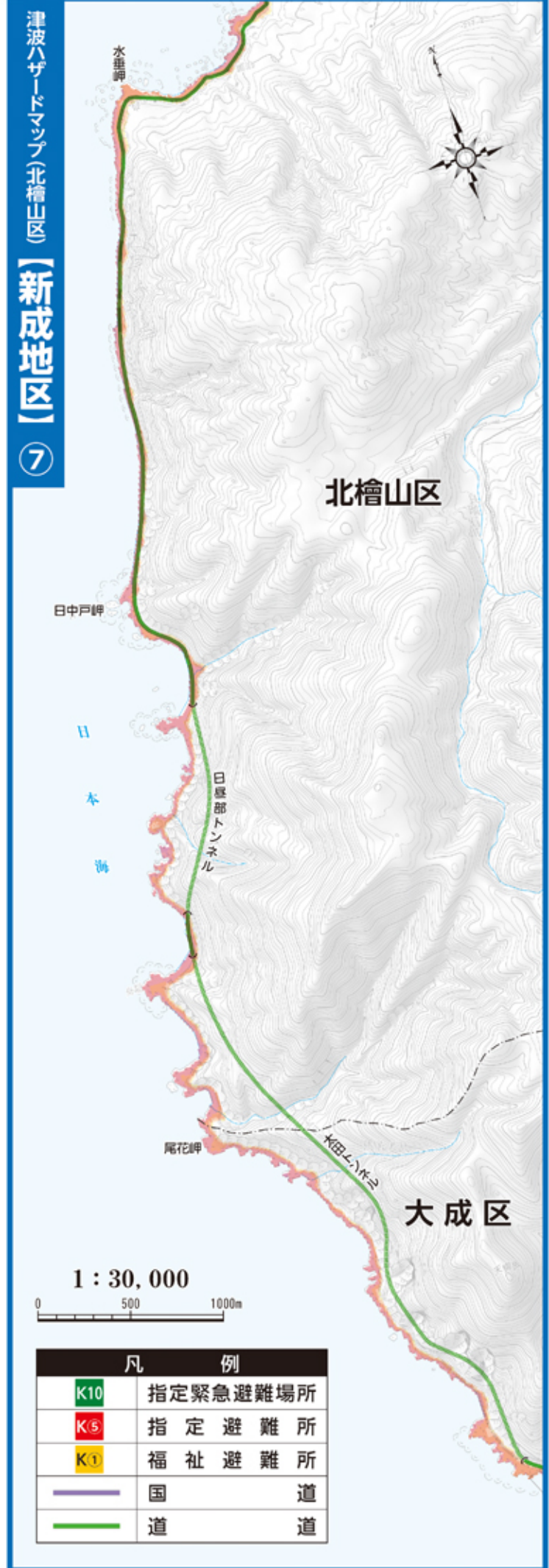
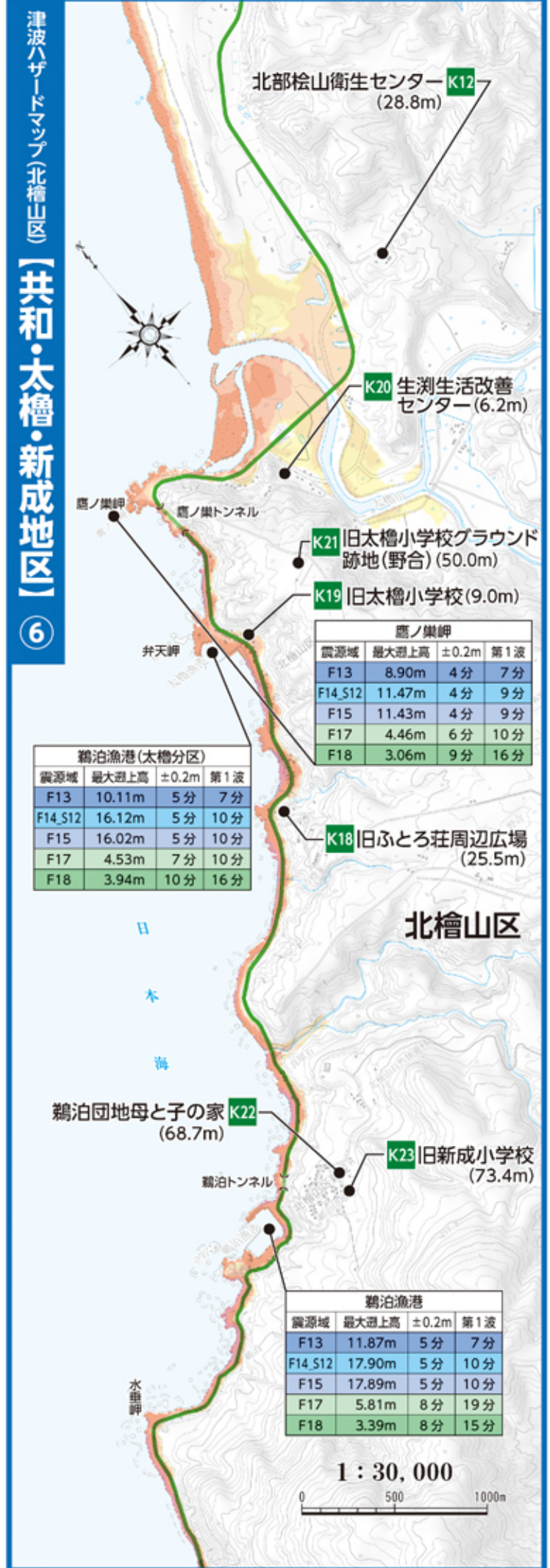
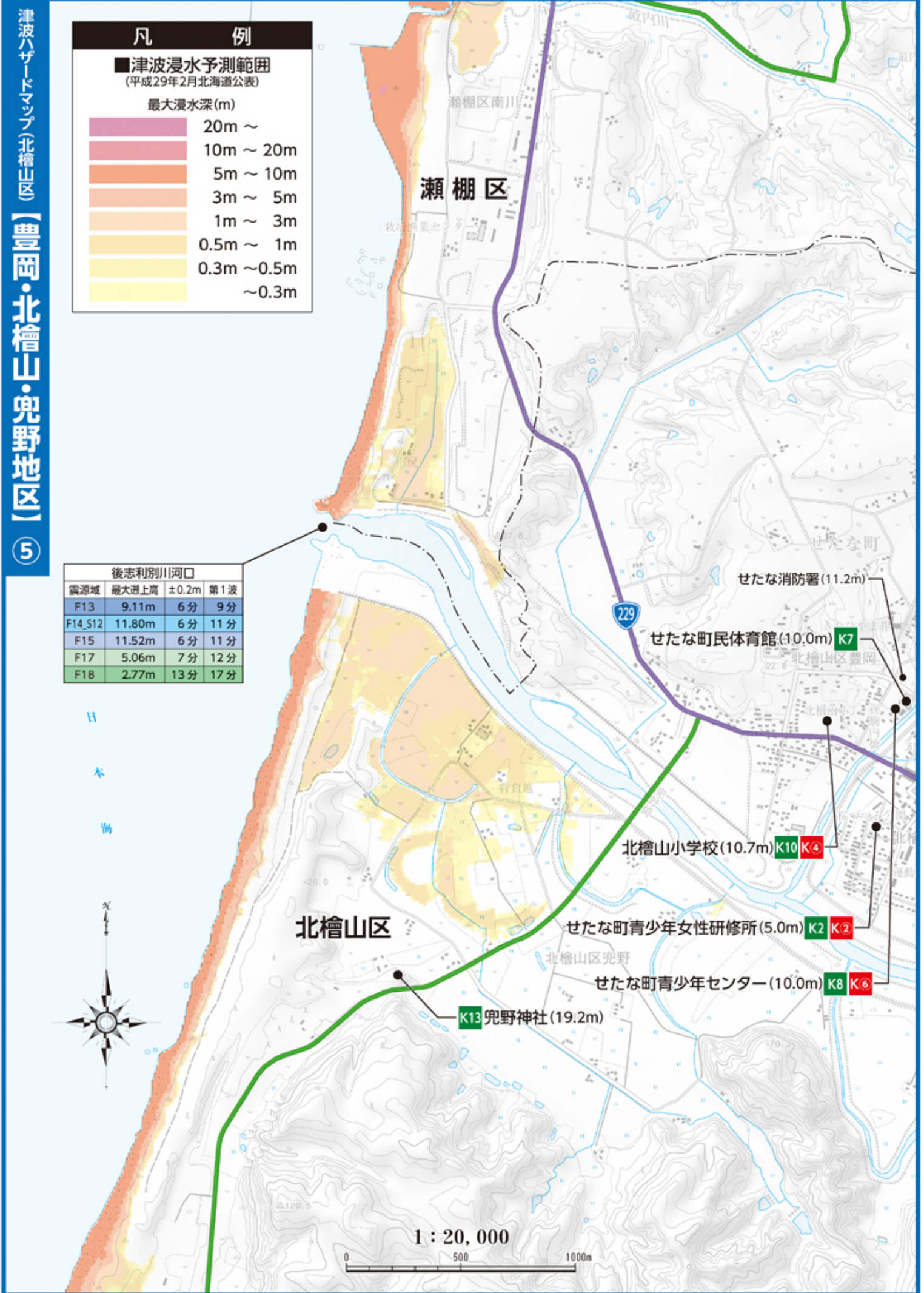
凡 例

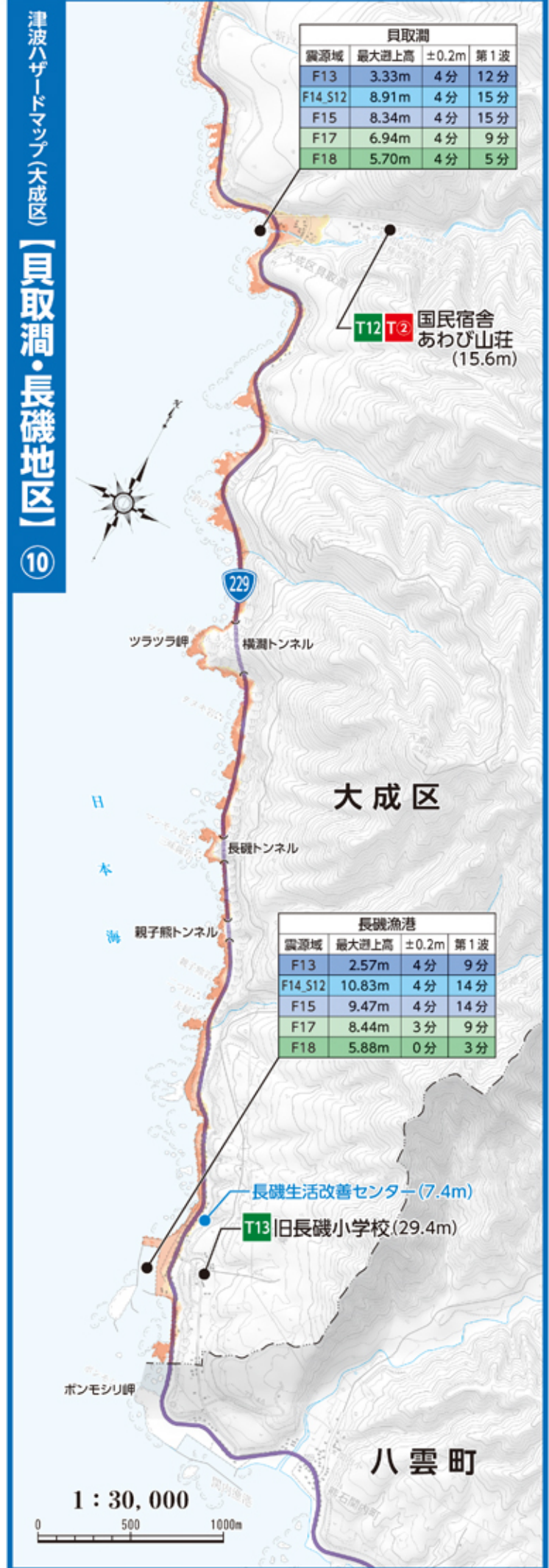
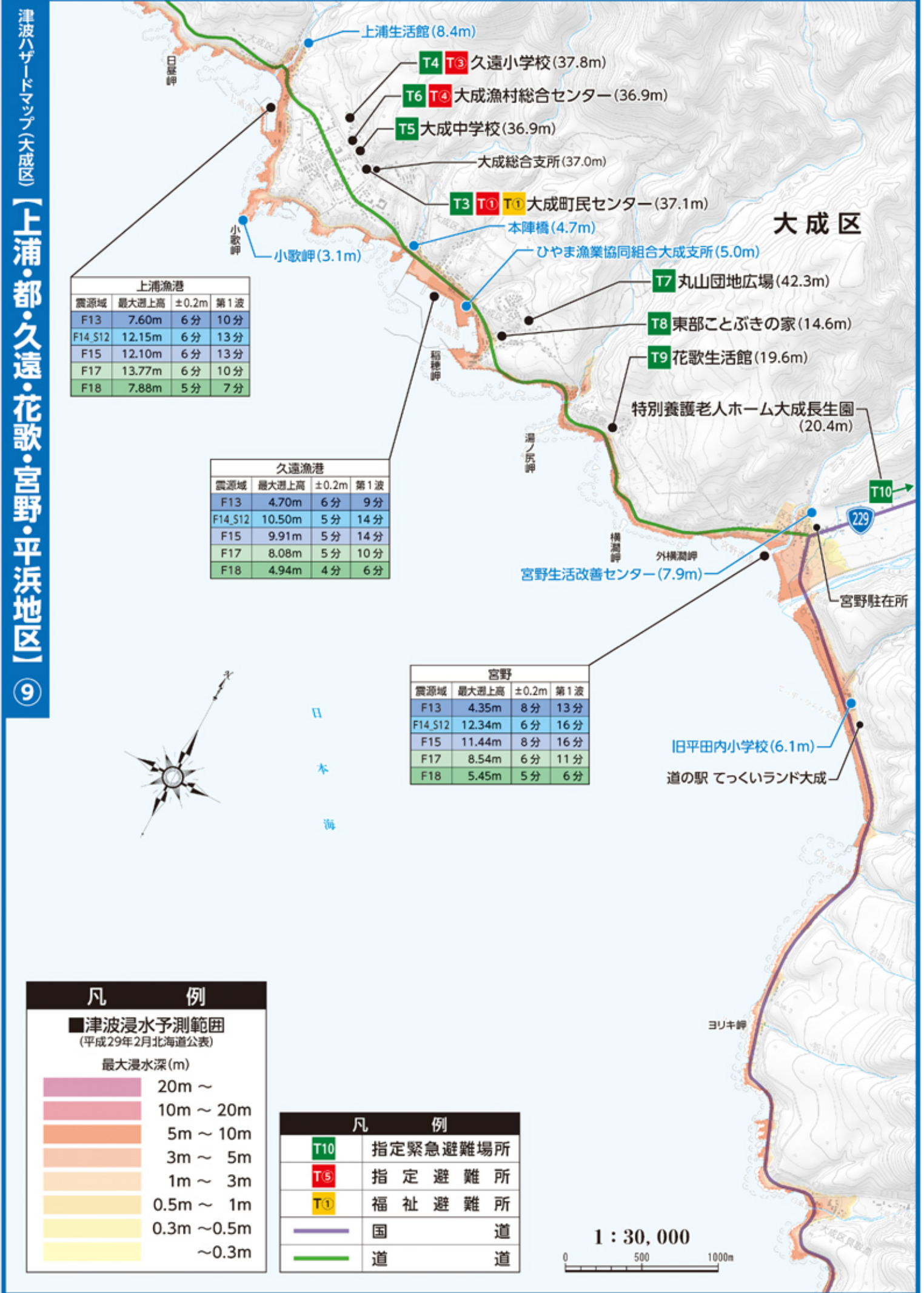
- S10 指定緊急避難場所
- S5 指定避難所
- S3 福祉避難所
- 国 道
- 道 道

1 : 8,000

0 500m

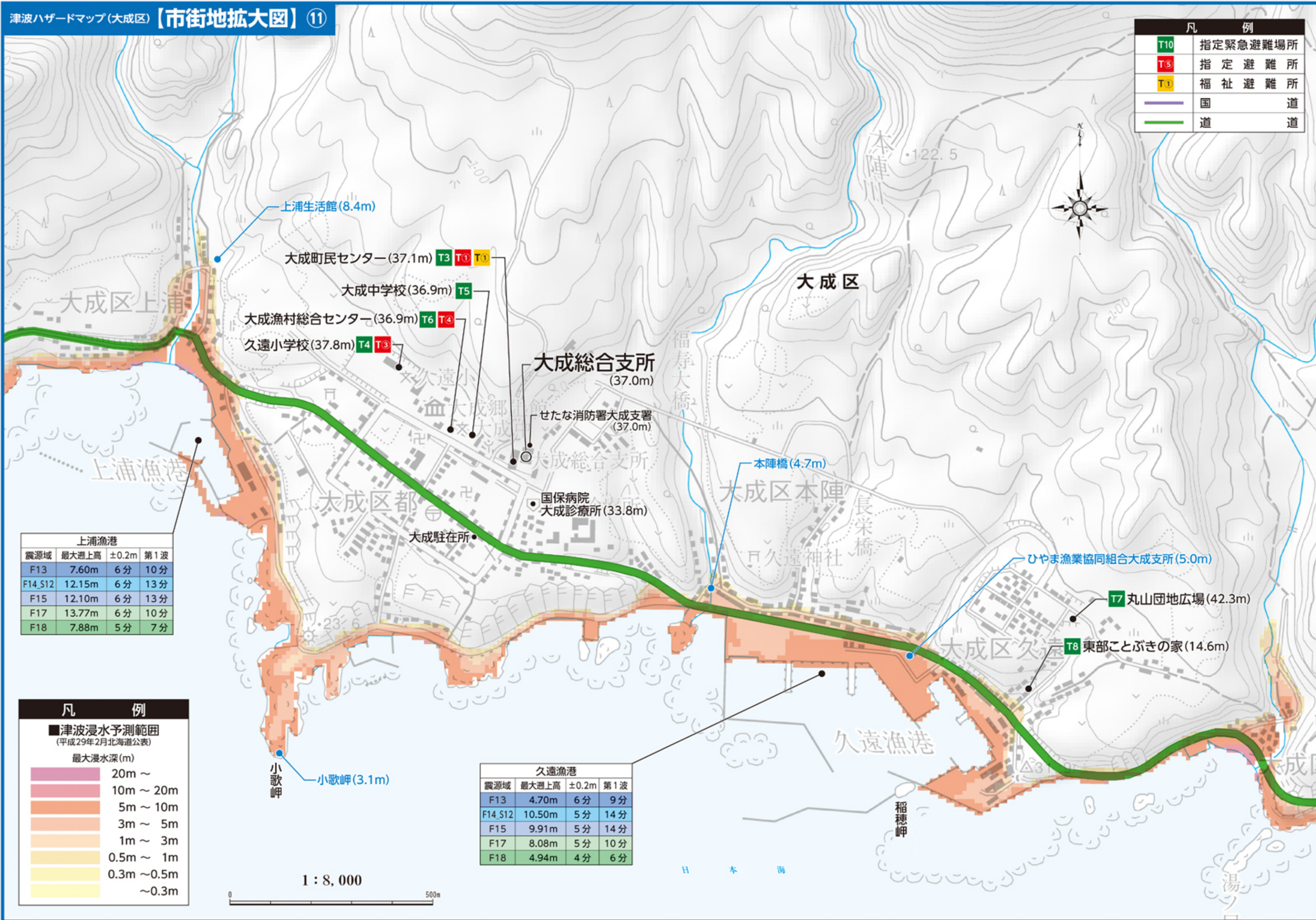






津波ハザードマップ(大成区)【市街地拡大図】 ⑪

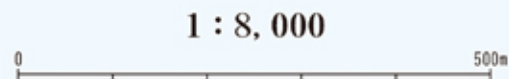
凡 例	
T10	指定緊急避難場所
T5	指定避難所
T0	福祉避難所
—	国道
—	道



上浦漁港			
震源域	最大遡上高 ±0.2m	第1波	
F13	7.60m	6分	10分
F14_S12	12.15m	6分	13分
F15	12.10m	6分	13分
F17	13.77m	6分	10分
F18	7.88m	5分	7分

凡 例	
津波浸水予測範囲 (平成29年2月北海道公表)	
最大浸水深(m)	
20m ~	
10m ~ 20m	
5m ~ 10m	
3m ~ 5m	
1m ~ 3m	
0.5m ~ 1m	
0.3m ~ 0.5m	
~0.3m	

久遠漁港			
震源域	最大遡上高 ±0.2m	第1波	
F13	4.70m	6分	9分
F14_S12	10.50m	5分	14分
F15	9.91m	5分	14分
F17	8.08m	5分	10分
F18	4.94m	4分	6分



風水害・土砂災害への備え 1



風水害を及ぼす気象に注意

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすくなりますが、台風や豪雨はある程度進路や規模などを予測できるため、普段から気象情報に注意しましょう。気象や防災に関する情報はテレビやラジオのほか、以下のホームページなどからも入手できます。

防災情報全般 (警報・注意報/地震・津波/竜巻など)	北海道防災情報	http://www.bousai-hokkaido.jp/	
		http://i.bousai-hokkaido.jp/	
気象情報	気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/	
	函館地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/hakodate-c/	
雨量・水位情報	国土交通省 川の防災情報	http://www.river.go.jp/	
		http://www.river.go.jp/s/	
土砂災害警戒情報	北海道河川砂防課	http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/	
		http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/sp/	

雨と風による危険度

雨の強さと降り方

やや強い雨 1時間に10~20mm未満 ザーザーと降る雨。地面一面に水たまりができ、地面からの跳ね返りで足元が濡れ、話し声が聞き取りにくくなります。	強い雨 1時間に20~30mm未満 どしゃ降り。傘をさしても濡れてしまうほどの雨で、側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れなどの心配があります。	激しい雨 1時間に30~50mm未満 バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、山崩れ・がけ崩れが起きやすくなるため、危険地帯では避難の準備が必要になります。	非常に激しい雨 1時間に50~80mm未満 滝のように降る雨。河川の氾濫をはじめ、土石流などが起きやすく、多くの災害が発生するおそれがあります。車の運転も危険です。	猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨 息苦しくなるような圧迫感のある雨。雨による大規模災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要となります。
---	---	--	---	---

風の強さと吹き方

※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。

やや強い風 風速10~15m/s 風に向かって歩きにくくなり、樹木全体や電線が揺れ始めます。高速運転時は横風に流される感覚を受けます。	強い風 風速15~20m/s 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出ます。看板やトタン板が外れ始め、高所での作業は極めて危険です。	非常に強い風 風速20~25m/s 何かにつかまっていけないと立っていられません。通常速度による運転が困難になり、飛来物による負傷にも注意しましょう。	猛烈な風 風速25~30m/s 細い木が折れたり、根の張っていない木が倒れ始めます。屋根材や看板が落下・飛散し、道路標識が傾きます。	猛烈な風 風速30m/s以上 屋外での行動は極めて危険です。多くの樹木が倒れ、走行中のトラックが横転したり、倒壊する住宅も出てきます。
--	---	--	---	--



風水害への備え

台風や集中豪雨では強風や激しい雨が降るため、時として家屋への浸水、河川の氾濫、土砂災害など様々な被害が想定されます。風水害に備えて日頃の安全対策をしっかりと行いましょう。

自宅の風水害対策チェック

自宅をチェックしてみましょう!

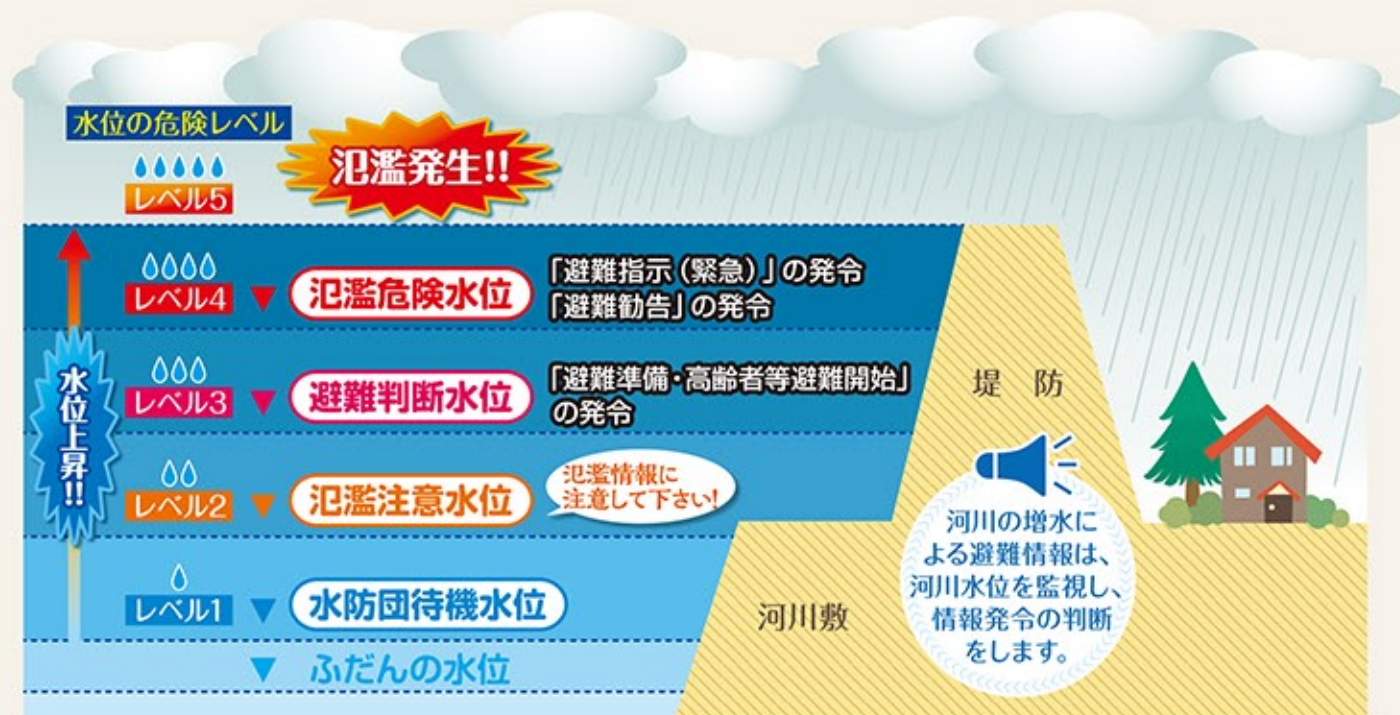
- チェック1** 窓や網戸のがたつきはありませんか?
- チェック2** アンテナは錆びたりゆるんでいませんか?
- チェック3** 屋根材がめくれたり、はがれたりしていませんか?
- チェック4** 風で飛ばされそうな庭木はありませんか?
- チェック5** プロパンガスボンベは、しっかりと固定されていますか? 配管はぐらついていませんか?
- チェック6** 風で飛ばされそうな物(自転車や植木鉢等)を外に置きっぱなしにしていませんか?
- チェック7** 壁の腐食・浮き・亀裂はありませんか?
- チェック8** フェンスやブロック塀はぐらついていないか、ひび割れや破損はしていませんか?

<p>集中豪雨</p> <p>集中豪雨とは短時間に集中して狭い地域に多量の雨が降る事で、大気不安定な状態が続いている時や台風が近づいている時・上陸した時などに発生します。台風などと異なり予測が困難であり、突発的に多量の雨が降ることから、河川の氾濫や土砂災害などの被害が起きやすいため、気象情報に十分注意しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⚠️ 雷鳴が聞こえたらすぐに避難 ⚠️ 建物の中や自動車へ避難 ⚠️ 木や電柱から4m以上離れる 	<p>落雷</p> <p>季節を問わずに発生する雷は、特に積乱雲が発達する夏から秋に多く発生します。注意報の発表時や発達した積乱雲が近づいてきた時は外出を控えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⚠️ 頑丈な建物の中へ避難 ⚠️ 屋内でも、窓や壁から離れる 	<p>竜巻</p> <p>竜巻は季節や場所を問わず起こります。いつもと違う雲を見る、急に空が暗くなる、冷たい風やひょうが降ってくるなどの竜巻の前兆現象を感じたり、警報・注意報が出ている場合は早めに安全な場所へ避難しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⚠️ 頑丈な建物の中へ避難 ⚠️ 屋内でも、窓や壁から離れる
---	---	---



河川氾濫の危険レベル

気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、浸水被害や崖崩れ、土石流、地滑りなどの土砂災害が発生します。また水の力はとても強く、大雨による浸水被害が起こった場合、人や車は簡単に押し流されてしまいます。大雨が予想される時は、水辺に近づかないようにしましょう。



水防団待機水位 (指定水位) 大雨などにより、この水位を越えると水防関係機関が水防活動の準備に入ります。	氾濫注意水位 (警戒水位) 洪水注意報の基準となり、災害のおそれがある水位です。この水位を越えると水防関係機関が出動します。	避難判断水位 避難準備・高齢者等避難開始の発令基準となる水位です。	氾濫危険水位 (特別警戒水位) 避難勧告等の発令基準となり、家屋浸水等の被害を生じる氾濫のおそれがある水位です。
---	---	---	---

歩ける深さは膝下まで!

水かさが増し、水の流が速くなればなるほど、水の力も強くなり、徒歩での避難が難しくなります。水深が腰まであったり、浅くても水の流が速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。

ポイント
歩ける目安は約30cm!

車が浸水したらすぐ外へ!

水深が約15~20cm前後に達すると、車のエンジンが停止する可能性があります。水深と流速が増すと車ごと流される危険もあります。車が浸水した場合は、すぐに外に出ましょう。

避難に遅れたら...

万一、避難に遅れ危険が迫った時には、自宅の2階か近くの頑丈な建物の2階以上に逃げましょう。

避難する時は裸足や長靴は避け、ひもで締められる運動靴などを履きましょう!



土砂災害への警戒

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いた時に発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

時間的切迫性

こんな「前ぶれ現象」に注意!

- 流水の異常なにごり

- 流木が発生
- 渓流内の転石の音

- 降雨時での水位の急激な低下
- 山鳴り・地鳴り

土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。

- 湧水量の増加
- 井戸水のごり

- 亀裂の発生

- 山鳴り・地鳴り

地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。

※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください。

- 湧水量の増加

- 小石がばらばら落下
- 湧水がにごる

- 小石がぼろぼろ落下
- 亀裂の発生

がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。

土砂災害から身を守るためには?

雨に注意する

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから80ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

ポイント
80ミリを越えたら要注意!

土砂災害警戒情報に注意する

「土砂災害警戒情報」とは、大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、町長が避難勧告等を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、北海道と気象庁が共同で発表する防災情報です。早期避難の判断に役立ててください。

後志利別川洪水ハザードマップ【瀬棚区・北檜山区】

洪水浸水想定区域について

この浸水想定は、国が平成28年に公表した「想定最大規模の降雨(1日の総雨量が351mm)」による洪水浸水予測に基づいて、浸水予想地域と浸水深を示したものです。

なお、地図に示した区域以外のところによっては浸水することがありますので注意して下さい。

※太櫓川等の河川については、河川管理者である北海道が洪水浸水想定区域を策定した後にお知らせいたします。

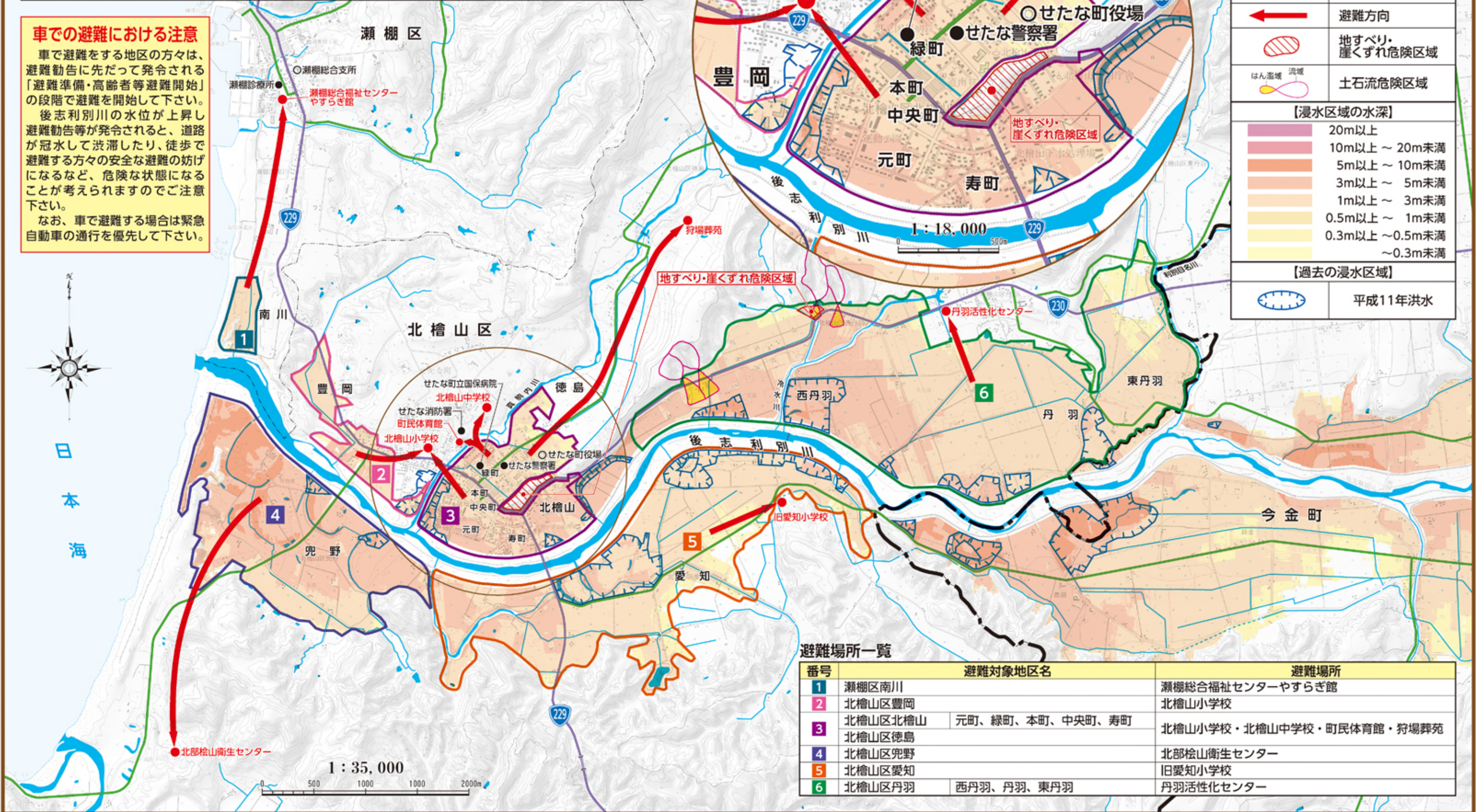
車での避難における注意

車で避難をする地区の方々は、避難勧告に先だてて発令される「避難準備・高齢者等避難開始」の段階で避難を開始して下さい。後志利別川の水位が上昇し避難勧告等が発令されると、道路が冠水して渋滞したり、徒歩で避難する方々の安全な避難の妨げになるなど、危険な状態になることが考えられますのでご注意ください。

なお、車で避難する場合は緊急自動車の通行を優先して下さい。



凡 例	
---	町界
—	国道
—	道道
—	避難ブロック界
—	
—	
—	
●	避難所・避難場所
←	避難方向
〰	地すべり・崖くずれ危険区域
〰	土石流危険区域
【浸水区域の水深】	
■	20m以上
■	10m以上～20m未満
■	5m以上～10m未満
■	3m以上～5m未満
■	1m以上～3m未満
■	0.5m以上～1m未満
■	0.3m以上～0.5m未満
■	～0.3m未満
【過去の浸水区域】	
〰	平成11年洪水



避難場所一覧

番号	避難対象地区名	避難場所
1	瀬棚区南川	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館
2	北檜山区豊岡	北檜山小学校
3	北檜山区北檜山 北檜山区徳島	元町、緑町、本町、中央町、寿町 北檜山小学校・北檜山中学校・町民体育館・狩場葬苑
4	北檜山区兜野	北部松山衛生センター
5	北檜山区愛知	旧愛知小学校
6	北檜山区丹羽	西丹羽、丹羽、東丹羽 丹羽活性化センター

土砂災害ハザードマップ(瀬棚区)【北島歌・島歌・元浦地区】

島牧村

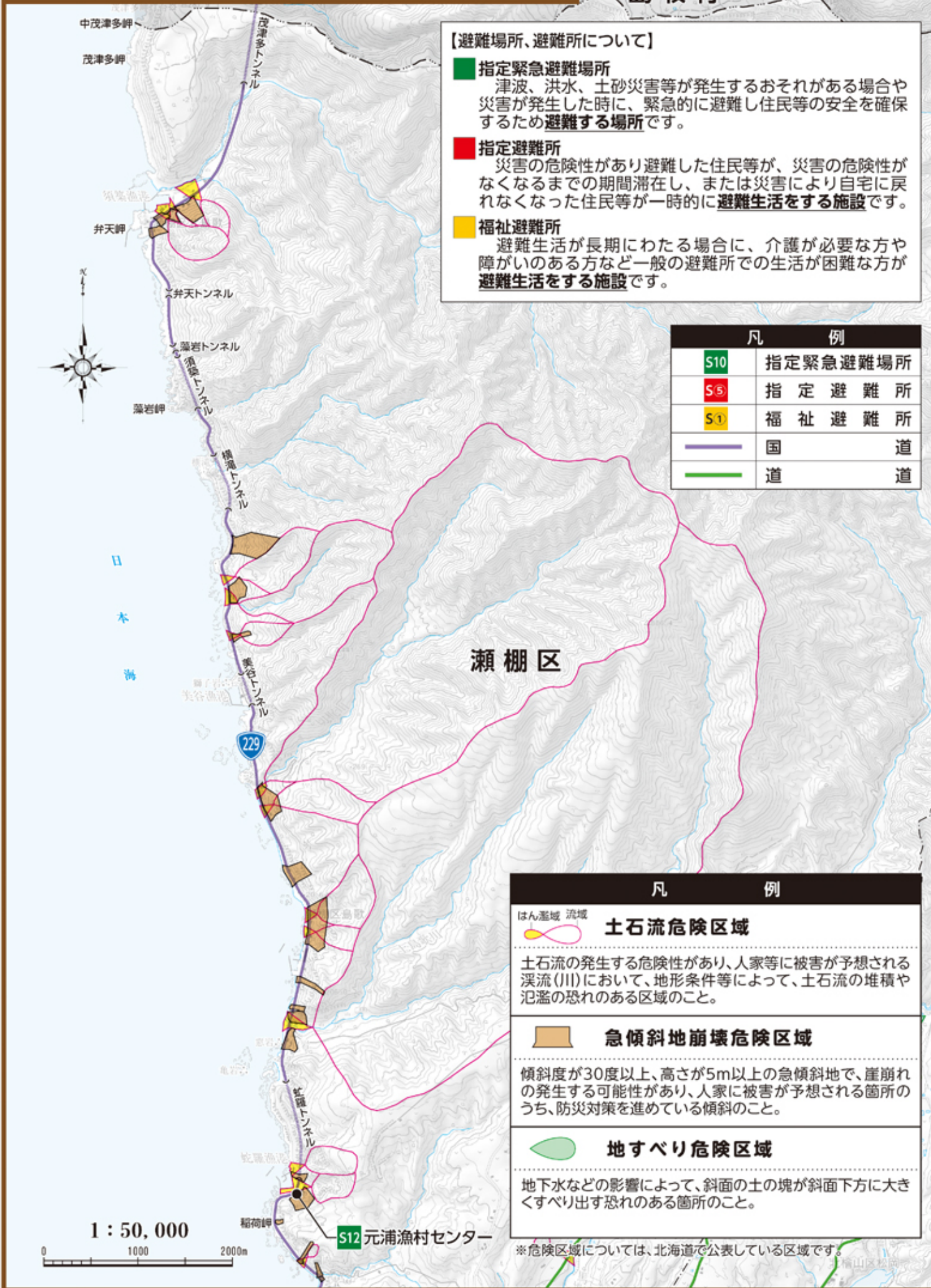
【避難場所、避難所について】

- 指定緊急避難場所**
津波、洪水、土砂災害等が発生するおそれがある場合や災害が発生した時に、緊急的に避難し住民等の安全を確保するため避難する場所です。
- 指定避難所**
災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまでの期間滞在し、または災害により自宅に戻れなくなった住民等が一時的に避難生活をする施設です。
- 福祉避難所**
避難生活が長期にわたる場合に、介護が必要な方や障がいのある方など一般の避難所での生活が困難な方が避難生活をする施設です。

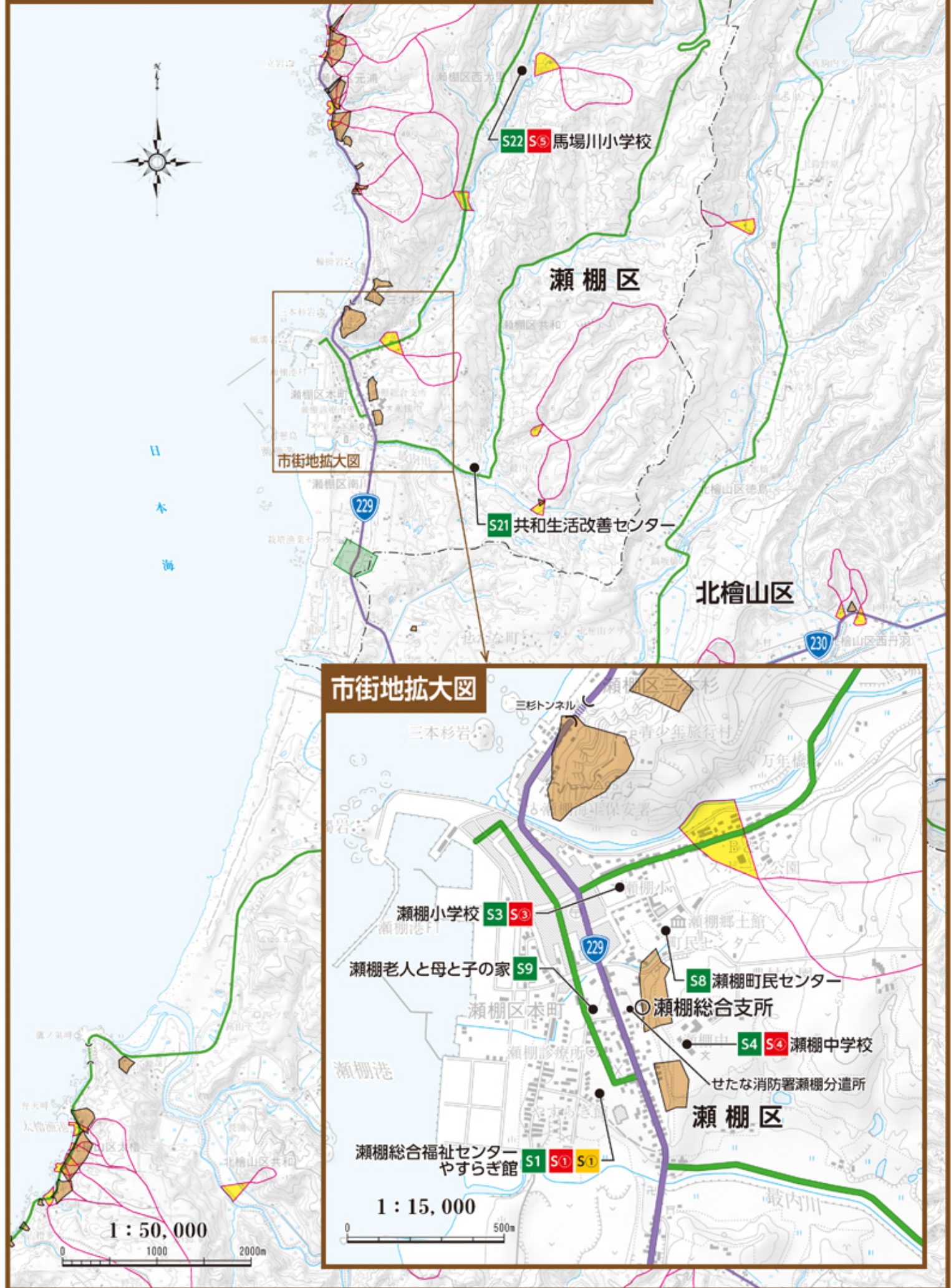
凡 例	
S10	指定緊急避難場所
S9	指定避難所
S1	福祉避難所
	国 道
	道 道

凡 例	
 	はん濫域 流域
 	土石流危険区域
土石流の発生する危険性があり、人家等に被害が予想される溪流(川)において、地形条件等によって、土石流の堆積や氾濫の恐れのある区域のこと。	
 	急傾斜地崩壊危険区域
傾斜度が30度以上、高さが5m以上の急傾斜地で、崖崩れの発生する可能性があり、人家に被害が予想される箇所のうち、防災対策を進めている傾斜のこと。	
 	地すべり危険区域
地下水などの影響によって、斜面の土の塊が斜面下方に大きくすべり出す恐れのある箇所のこと。	

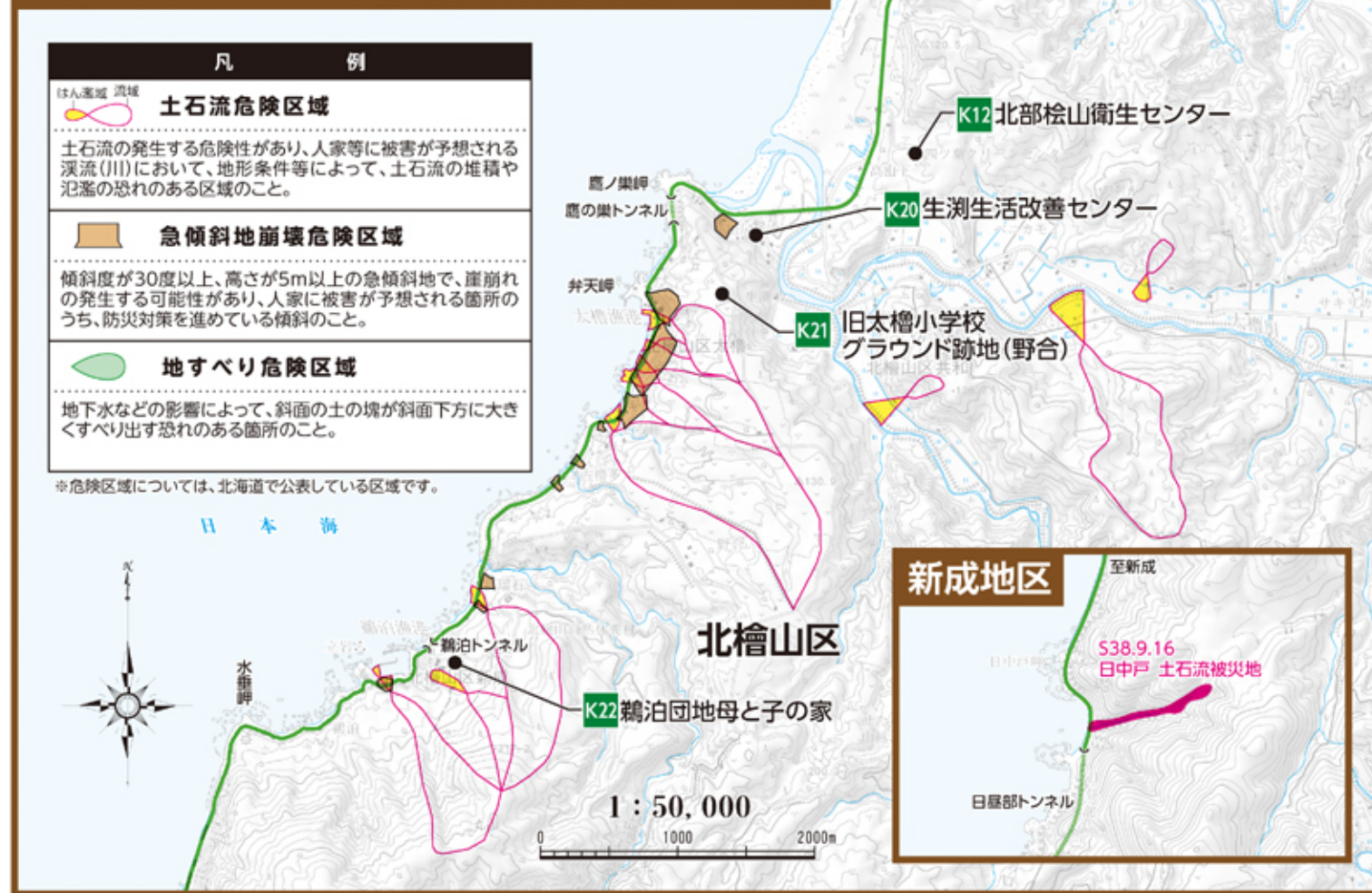
※危険区域については、北海道で公表している区域です。



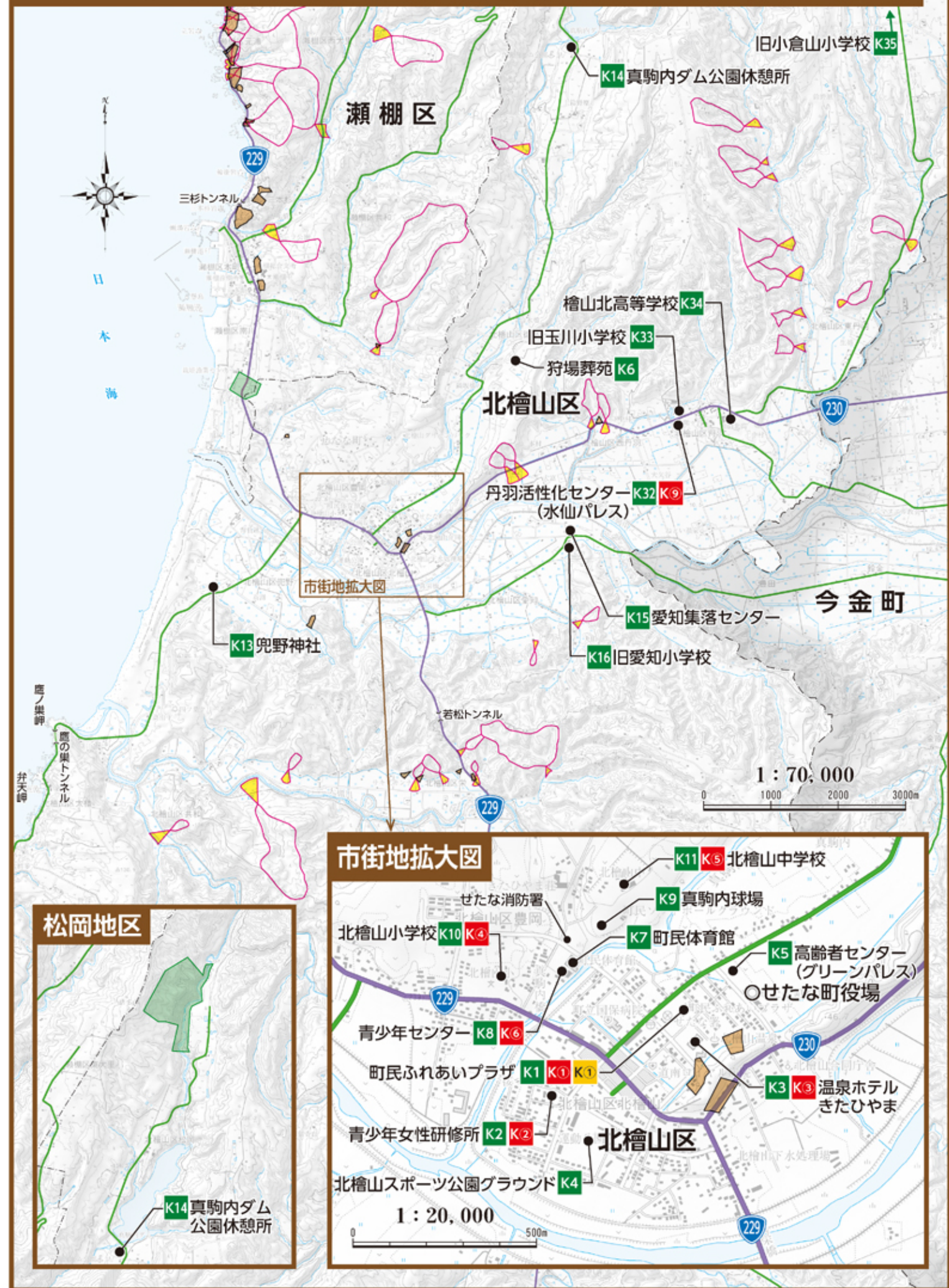
土砂災害ハザードマップ(瀬棚区)【元浦・三本杉・本町・南川地区】



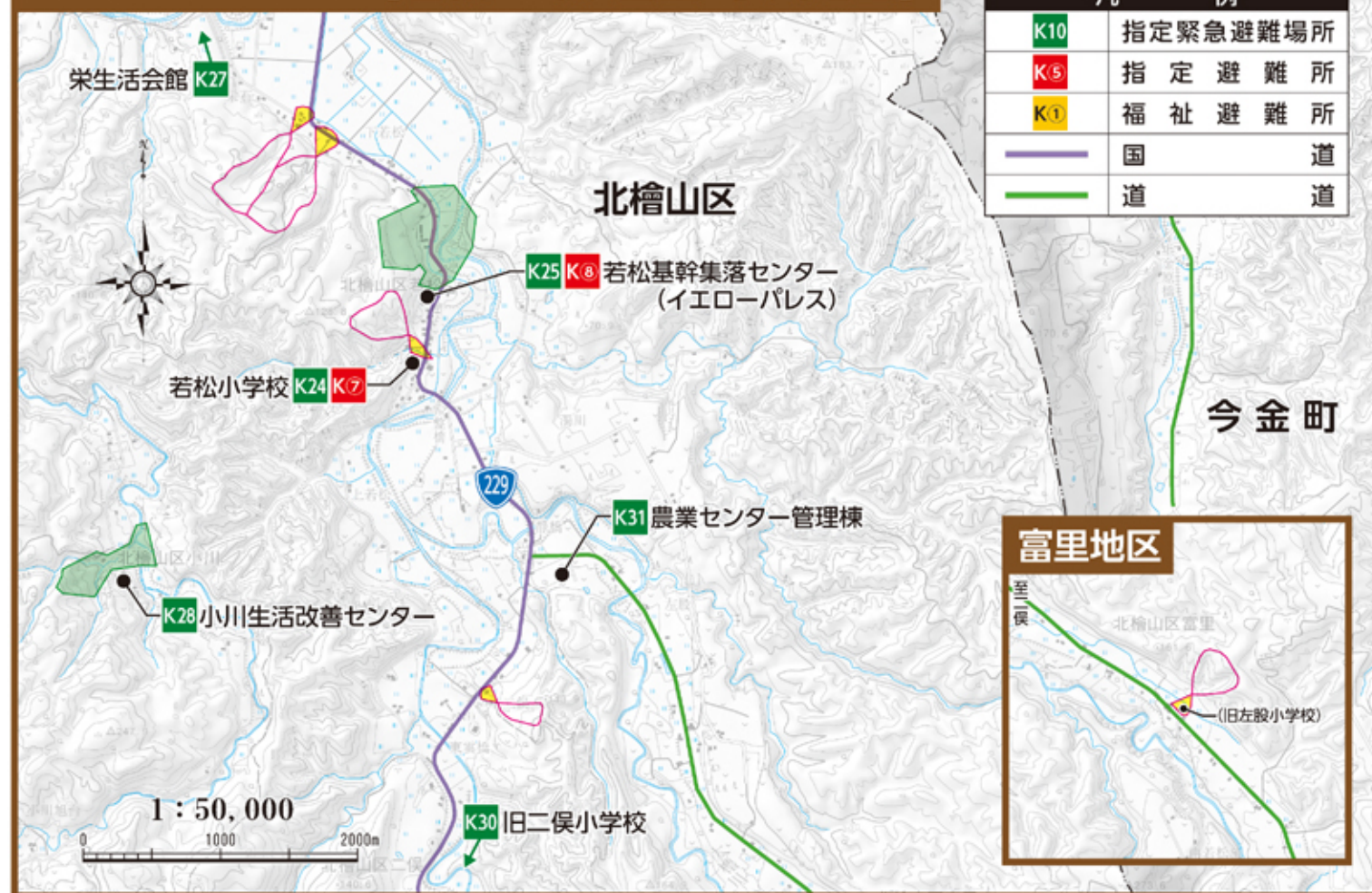
土砂災害ハザードマップ(北檜山区)【共和・太櫓・新成地区】



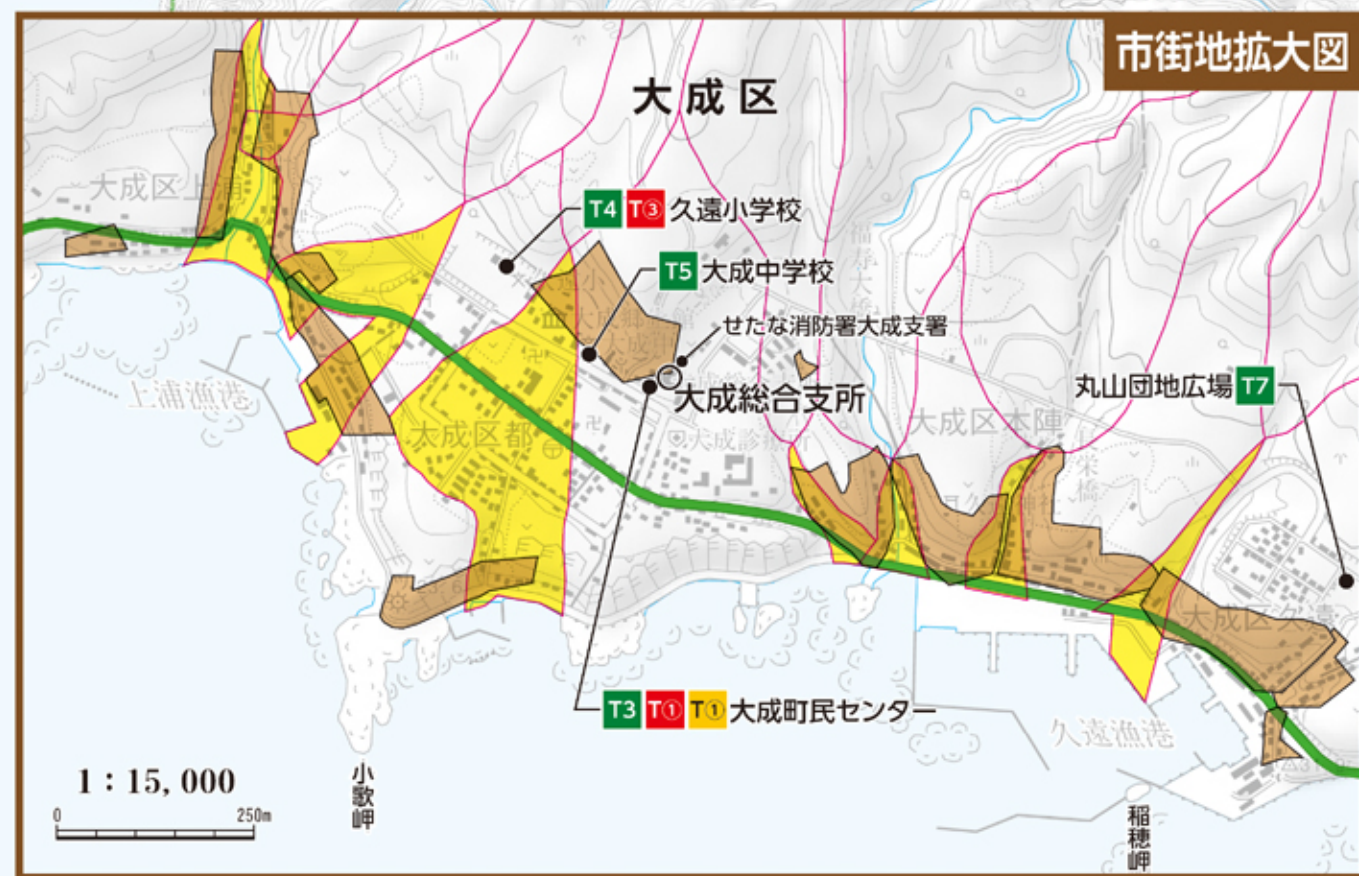
土砂災害ハザードマップ(北檜山区)【北檜山・豊岡・徳島・松岡・愛知・丹羽・小倉山地区】



土砂災害ハザードマップ(北檜山区)【若松・二俣・富里・小川地区】



土砂災害ハザードマップ(大成区)【太田・富磯・上浦・都・久遠地区】



凡 例	
T10	指定緊急避難場所
T5	指定避難所
T0	福祉避難所
—	国 道
—	道 道

土砂災害ハザードマップ(大成区)【花歌・宮野・平浜・貝取潤・長磯地区】



凡 例

はん濫域 流域

土石流危険区域

土石流の発生する危険性があり、人家等に被害が予想される渓流(川)において、地形条件等によって、土石流の堆積や氾濫の恐れのある区域のこと。

急傾斜地崩壊危険区域

傾斜度が30度以上、高さが5m以上の急傾斜地で、崖崩れの発生する可能性があり、人家に被害が予想される箇所のうち、防災対策を進めている傾斜のこと。

地すべり危険区域

地下水などの影響によって、斜面の土の塊が斜面下方に大きくすべり出す恐れのある箇所のこと。

※危険区域については、北海道で公表している区域です。

災害情報の伝わり方

状況に応じて、気象情報(大雨・洪水などの注意報・警報や台風・地震・津波についての情報)と避難情報は、下図のように町民の皆さんに伝えられます。



災害による被害が拡大するおそれがあり、住民への危険が迫った時には、状況に応じて町災害対策本部から以下の避難情報が発令されます。避難情報が発令された場合は速やかに行動しましょう。

避難準備
高齢者等
避難開始

避難勧告

避難指示
(緊急)

！避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合

- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

！災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

！災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。
(自主避難する際は、役場防災担当へ連絡してください)

せたな町で受信できる災害情報

防災行政無線

せたな町では防災行政無線を使い、「災害時の緊急放送」や「日常の行政情報」などを町民の皆さんへお知らせしています。

平常時の 情報伝達

- 行政事務・行事の案内・時報のお知らせ
- 火災予防・交通安全の啓発
- 気象警報・盗難・防犯への警戒

災害時の 情報伝達

- 危険地域への警戒情報
- 避難勧告・誘導情報
- 災害状況・救援情報

全国瞬時警報システム J-ALERT (ジェイ・アラート)

Jアラートとは、津波警報や緊急地震速報、弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星等を用いて情報を送信し、町の防災行政無線等を自動起動することにより、屋外スピーカーや設定済みのスマートフォン・携帯電話等を通じて緊急情報を国から住民へ直接、そして瞬時に伝達する世界でも画期的なシステムです。

Jアラートによって 伝達される情報

防災行政無線を自動起動させる11情報

有事情報に関する情報

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- その他の国民保護情報

自然災害に関する情報

- 緊急地震速報
- 大津波警報
- 津波警報
- 噴火警報(居住地域)
- 噴火速報
- 気象等の特別警報

テレビ・ラジオ・インターネットなど

警報や注意報、気象情報等はテレビ・ラジオ・インターネットなどを通じても確認することができます。また、テレビのデータ放送でも情報の入手が可能です。データ放送を視聴するにはテレビリモコンの「dボタン」を押してください。



メールサービス

お手持ちの携帯電話より、気象庁が配信する「緊急地震速報」・「津波警報」および「特別警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」などの情報が被災エリアに一斉に無料配信されます。受信にはそれぞれ設定が必要になるため、各種対応機種による設定をしてください。

エリアメール (NTTドコモ)	緊急速報メール (au・ソフトバンク)
緊急地震速報 最大震度5以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予想されるエリアにお知らせします。	
津波警報 津波の高さが高いところで1m程度以上になると予想されるエリアにお知らせします。	
特別警報 気象(大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪)、または噴火(居住地域) (噴火警戒レベルを運用している地域は噴火警戒レベル4以上)に関する特別警報が発表された場合、特別警報の対象となるエリアにお知らせします。	
災害・避難情報 地震や台風などの自然災害にともなう避難勧告や避難指示など、住民の安全にかかわる情報をお知らせします。	



いざという時のための応急処置 1

突然の災害の時は、公的な救急機関がすぐに駆けつけられるとは限りません。万が一の際に自力でも対応ができるよう、応急処置の予備知識を身につけておきましょう。

身の回りのモノでできる応急手当

災害時はたくさんのけが人が同時に発生するため、応急手当や救急救命のための専門の道具が不足し、入手困難となります。いざという時に備え、身の回りにある一般的な生活雑貨などを使ってできる応急手当方法を知っておきましょう。

止血の方法 ー直接圧迫止血法ー



- 1 直接血に触れないようにビニール袋などで手を覆う
- 2 傷口に清潔な布を直接当てて圧迫する (使用していないハンカチ、タオルなど)
- 3 手足のケガなら患部を心臓より高い位置に上げる
- 4 最初に当てた布が血に染まってきたら、新しい清潔な布をさらに上からかぶせて圧迫する
- 5 血が止まったら大判のハンカチやネクタイなどを包帯代わりにして、当てた布を固定したうえで病院へ行く

骨折の応急手当



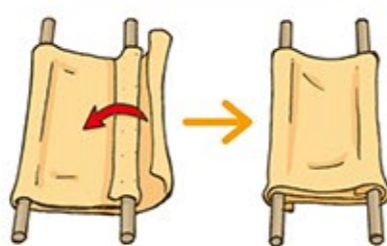
- 1 骨折した箇所を固定する
通常病院では、「添え木」や「ギブス」などの専門の道具で固定しますが、「折り畳み傘」「雑誌」「新聞紙」「ダンボール」などの身の回りにある物を代用します
- 2 添え木(代用品)を骨折した箇所に当て、「大判ハンカチ」や「ネクタイ」などで固定する
- 3 骨折した手を首からつる場合は、大判のスカーフや大きめの「レジ袋」の両サイドを切り裂き、固定した手を横から入れて、持ち手のところを二つ重ねて首からつる(首の後側に持ち手が食い込んで痛くなるのを防ぐために「ハンカチ」や「タオル」を当てる)

毛布や衣類を使って簡易担架を作る

傷病者を移動させたいが担架がない時

けが人が続出して担架が不足した場合などに、毛布やシーツなどの大きめの布を担架代わりに活用できます。布の端をくるくると巻き込むと、持ちやすい取っ手ができて使いやすくなります。また、2本の棒と毛布や衣類などで簡易担架を作っても良いでしょう。(使用前には、必ず安全を確認しましょう)

毛布と棒2本を使って



衣類と棒2本を使って



いざという時のための応急処置 2

意識がない場合の応急処置

人は心臓が止まると15秒以内に意識がなくなり、心停止から1分ごとに、救命率は7~10%下がります。そのため、現場に居合わせた人が迅速に心肺蘇生を行うことがもっとも大切です。

心肺蘇生法の手順

1 反応(意識)を確認する

傷病者の耳元で「大丈夫ですか」または「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応があるか、ないかをみます。

2 助けを呼ぶ

反応がなければ、大きな声で「誰か来て!人が倒れています!」と助けを求めます。協力者が来たら、「あなたは119番へ通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と具体的に依頼します。

3 呼吸を確認する

傷病者が「普段どおりの呼吸」をしているかどうかを確認します。

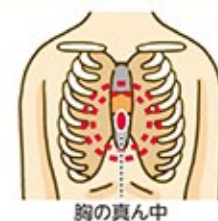
4 胸骨圧迫を行う

呼吸がない場合は、まず胸の真ん中に手の平を重ね合わせ、両ひじを伸ばし、体重をかけるようにしながら、まっすぐ下に30回押します。その後、人工呼吸を2回行います。この胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ(30:2のサイクル)を救急隊に引き継ぐまでか、何らかの反応があるまで2分間(5サイクル)を目安に絶え間なく続けることが大切です。

胸骨圧迫



人工呼吸



30回圧迫後、人工呼吸を2回行います
※深さは少なくとも5cm押す
圧迫のリズムは少なくとも100~120回/分とします
これらの動作をAEDや救急隊員の到着まで繰り返します

! 正常な呼吸をしているが、意識がない場合は回復体位にする



気動を確保するために、横向きにして上の脚のひざを90度曲げて寝かせる

AED(自動体外式除細動器)による救命処置

AED(自動体外式除細動器)は、突然の心停止から、けいれんした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻すための機械です。付属の電極パッドを傷病者に貼ると自動的に心電図を解析し、除細動が必要な場合のみ電気ショックを加える仕組みで、誰でも安全・確実に除細動が行えます。 ※日頃からAEDの設置場所を確認しておきましょう P40 避難所一覧表へ



AED(自動体外式除細動器)を装着し、音声ガイダンスに従って除細動することは救命に大きな効果があります!



救急車の呼び方



- 1 119番にダイヤル
- 2 (火事ですか?、救急ですか?の問いに)「救急です!」と答える
- 3 「住所」「自印」を伝える
- 4 事故や傷病者の「様子」を説明(いつ・どこで・だれが・どうして・どうなったかを詳しく)
- 5 通報者の「氏名」「電話番号」を伝える
- 6 人手があれば救急車を「誘導」、救急隊「到着」
- 7 傷病者が倒れていた状況、行なった応急処置、容態の変化、AEDによる電気ショックの回数などを正確に報告





日頃の備え

災害はいつ起きるかわかりません。しかし、災害による被害は日頃の備えによって減らすことが可能です。いざという時に慌てないように、「自分でできること」「家族でできること」などについて考え、防災意識を高めることが大切です。

家族で防災会議

役割分担を決めておく!



家の点検をする人、非常持ち出し品を管理する人などの役割分担を決めましょう。また、電気のブレーカーやガスの元栓の位置、消火器の使い方などの確認も忘れずに。

避難場所を確認しておく!



自分の地区の避難場所はどこなのか事前に確認し、実際に避難場所まで歩いてみましょう。安全に通行できるか、危険な箇所はないかなどをチェックしておきましょう。

連絡方法を決めておく!



家族が離れ離れになった時の連絡方法を決めておきましょう。また安否確認方法やその使い方などについても、確認しておきましょう。

集合場所を決めておく!



連絡手段が利用できないことも想定し、家族の集合場所を決めておきましょう。集合場所が被災している場合がありますので、複数の集合場所を決めておくとう安心です。

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を確認しておきましょう!

災害用伝言ダイヤル

171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。

※詳しい内容は下記のNTTのホームページで確認してください

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>



171またはNTT 検索



携帯電話災害用伝言板

大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。

※詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください



避難する時の注意点

安全・安心に避難する

ガスの元栓を閉める



地震後はガス器具やガス管が壊れている場合があります。ガスが復旧した際にガス爆発の危険があるため、ガスの元栓を閉めましょう。

連絡・メモを残す



避難する際には、自分や家族の安否情報、連絡先などのメモを残しましょう。電話の混線が想定されるので、SNSなどを利用するのも良いでしょう。

避難時の服装



荷物は少なく、動きやすい服装で避難しましょう。

ブレーカーを落とす



停電している時でも必ずブレーカーを落としてから避難してください。停電から復旧した際に「通電火災」が起こる可能性があります。

避難は2人以上が望ましい



特別な事情を除き、避難時は徒歩が原則です。できるだけ1人の避難は避け、子どもが一緒の場合は目を離さないように注意しましょう。

災害時要配慮者への思いやりを!

高齢者や障がい者、傷病者、小さな子ども、妊産婦、旅行者などは避難に時間がかかったり、情報や状況を迅速に把握できない場合があります。日頃から近所の要配慮者を把握しておいたり、災害時には地域のみなさんと協力しあって要配慮者を支援しましょう。



高齢者・傷病者

- 正しい情報を伝える
- 不安を取り除くように声をかける
- 手を貸したり、おぶって避難



障がい者

- 介助の手助けを
- 耳が不自由な方には、筆談や身振りで対応



妊産婦・幼児

- 手荷物を持ったりの手助けを
- 子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける

災害への備え 4



非常持ち出し品を準備する

もしもの災害時にすぐ避難できるよう非常持ち出し品(袋)を準備しておきましょう。
中身は自分にとって必要なものを、家族がいる場合は1人分ずつの用意があると安心です。
両手が使えるリュックなどを使い、玄関や寝室などに置いておけば、いつでも持ち出すことができます。

必要なものを書き込み、チェックしてみましょう!

貴重品

- 現金(10円玉を含む)
- 預金通帳
- 印鑑
- 健康保険証(コピーでも可)
- 運転免許証(コピーでも可)
- 親戚・知人等の連絡先メモ
- 家族写真(家族とはぐれた時などに便利)



※貴重品や重要書類はコピーをとったり、必要事項をメモしたものを入れると良い。

情報収集用品

- 携帯ラジオ・防災ラジオ
- 乾電池
- 筆記用具(日光や雨に強いもの)
- スマートフォンや携帯電話の充電器

非常食・飲料水

- 飲料水
- 乾パン・缶入りパン
- ゼリー飲料や栄養補助食品
- チョコレート・あめなど

※火を通さずに食べられるもの。

衣料品・防寒対策用品

- 雨具(レインコート・ポンチョ)
- レジャーシート・保温シート
- 使い捨てカイロ
- 着替え・防寒具

※雨などに濡れた場合に備えて、着替えは1セット分を用意。

避難用品

- 底の厚い靴(登山靴やスニーカーなど紐で結ぶもの)
- 手袋・軍手(頑丈な作業用手袋や革手袋が良い)
- ヘルメット・防災ずきん
- 懐中電灯・ヘッドライト
- ホイッスル
- ハザードマップ・地図



救急・衛生用品

- 絆創膏
- 消毒液
- 包帯・三角巾
- ガーゼ・脱脂綿
- マスク
- ピンセット・毛抜き・はさみ
- 常備薬(風邪薬・傷薬など)
- 持病薬(おくすり手帳/コピーや薬のメモでも)
- アルコール除菌(シートやジェルなど)
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- ビニール袋
- 携帯トイレ
- 生理用品



個別必要品

- 粉ミルク・ほ乳びん・消毒剤
- ベビーフード・おやつ
- 紙おむつ・おしりふき
- 絵本・おもちゃ
- 抱っこひも・授乳用ポンチョ
- 母子手帳(コピー)
- 大人用紙おむつ・尿とりパッド
- 介護用品
- 予備メガネ・補聴器
- 入れ歯・洗浄剤
- 携帯用杖
- ペット用品 など

避難所一覧表

避難所は災害の規模や状況に応じて開設されます。
避難所開設の際は、防災行政無線等で町民のみなさんにお知らせします。



指定避難所

災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまでの期間滞在し、または災害により自宅に戻れなくなった住民等が一時的に**避難生活をする施設**です。

番号	地区	施設名	住所	電話番号	AED	海拔
K①	北檜山区	せたな町民ふれあいプラザ	徳島8-1	0137-84-5563	○	6m
K②		せたな町青少年女性研修所	北檜山113	0137-84-5390	-	5m
K③		温泉ホテルきたひやま	徳島4-16	0137-84-4120	-	6m
K④		北檜山小学校体育館	豊岡200	0137-84-5424	○	10m
K⑤		北檜山中学校体育館	豊岡233-1	0137-84-5345	○	19m
K⑥		せたな町青少年センター	豊岡212-2	-	○	10m
K⑦		若松小学校体育館	若松461	0137-85-1014	○	22m
K⑧		若松基幹集落センター(イエローパレス)	若松513-1	0137-85-1095	-	22m
K⑨		丹羽活性化センター(水仙パレス)	丹羽5-7	0137-84-5211	-	15m
S①	瀬棚区	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館	本町948-7	0137-87-3841	○	11m
S②		瀬棚ふれあいセンター	共和590-4	0137-87-2110	-	64m
S③		瀬棚小学校体育館	本町513-1	0137-87-3064	○	5m
S④		瀬棚中学校体育館	共和404-1	0137-87-3104	○	36m
S⑤		馬場川小学校体育館	西大里310-4	0137-87-2081	○	63m
T①	大成区	大成町民センター	都425	01398-4-5511	-	37m
T②		国民宿舎あわび山荘	貝取澗388	01398-4-5522	-	15m
T③		久遠小学校体育館	都366	01398-4-5018	○	37m
T④		大成農漁村総合センター	都387	-	○	36m

福祉避難所

避難生活が長期にわたる場合に、介護が必要な方や障がいのある方など一般の避難所での生活が困難な方が**避難生活をする施設**です。

※福祉避難所は必要に応じて開設されるため、最初は最寄りの指定避難所に避難してください。

番号	地区	施設名	住所	電話番号	AED	海拔
K①	北檜山区	せたな町民ふれあいプラザ	徳島8-1	0137-84-5563	○	6m
S①	瀬棚区	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館	本町948-7	0137-87-3841	○	11m
T①	大成区	大成町民センター	都425	01398-4-5511	-	37m

指定緊急避難場所一覧表

津波、洪水、土砂災害等が発生するおそれがある場合や災害が発生した時に、緊急的に避難し住民等の安全を確保するため**避難する場所**です。

※災害の種類が「×」の場合は、その災害時の避難場所としては適さない場所です。

番号	地区	施設名	住所	電話番号	洪水	土砂災害	高潮	津波	広域火災	海拔
K1	北檜山	せたな町民ふれあいプラザ	徳島8-1	0137-84-5563	×	○	○	○	○	6m
K2		せたな町青少年女性研修所	北檜山113	0137-84-5390	×	○	○	○	○	5m
K3		温泉ホテルきたひやま	徳島4-16	0137-84-4120	×	○	○	○	○	6m
K4		北檜山スポーツ公園グラウンド	北檜山171-1	—	×	○	○	○	○	5m
K5	徳島	せたな町高齢者センター(グリーンパレス)	徳島49-1	0137-84-6478	×	○	○	○	○	7m
K6		狩場葬苑	徳島554-2	0137-84-6157	○	○	○	○	○	42m
K7	豊岡	せたな町民体育館	豊岡212-2	0137-84-5044	○	○	○	○	○	10m
K8		せたな町青少年センター	豊岡212-2	—	○	○	○	○	○	10m
K9		せたな町真駒内球場	豊岡237-1	—	○	○	○	○	○	17m
K10		北檜山小学校	豊岡200	0137-84-5424	○	○	○	○	○	10m
K11		北檜山中学校	豊岡233-1	0137-84-5345	○	○	○	○	○	19m
K12	兜野	北部松山衛生センター	共和120-5	0137-86-0070	○	○	○	○	○	28m
K13		兜野神社	兜野162-3	—	○	○	○	○	○	19m
K14	松岡	真駒内ダム公園休憩所	松岡158-1	—	○	○	○	○	○	82m
K15	愛知	愛知集落センター	愛知837-6	—	×	○	○	○	○	7m
K16		旧愛知小学校	愛知928	—	○	○	○	○	○	12m
K17	太櫓	はまなす荘	太櫓398	0137-86-0458	○	×	×	×	○	5m
K18		旧ふとろ荘周辺広場	太櫓427	—	○	×	○	○	○	25m
K19		旧太櫓小学校	太櫓141	—	○	×	○	○	○	9m
K20	共和	生測生活改善センター	共和616-2	0137-86-0459	○	○	○	○	○	6m
K21		旧太櫓小学校グラウンド跡地(野合)	太櫓82-1	—	○	○	○	○	○	50m
K22	新成	鷺泊団地母と子の家	新成217-1	0137-86-0456	○	○	○	○	○	68m
K23		旧新成小学校	新成204-1	—	○	×	○	○	○	73m
K24	若松・栄	若松小学校	若松461	0137-85-1014	○	○	○	○	○	22m
K25		若松基幹集落センター(イエローパレス)	若松513-1	0137-85-1095	○	○	○	○	○	22m
K26		旧若松中学校グラウンド跡地	若松525	—	○	×	○	○	○	18m
K27		栄生活会館	栄46-1	—	○	○	○	○	○	8m
K28	小川	小川生活改善センター	小川155	0137-86-0453	○	○	○	○	○	94m
K29	富里	旧左股小学校	富里213	—	○	×	○	○	○	101m
K30	二俣	旧二俣小学校	二俣271	—	○	○	○	○	○	40m
K31		せたな町農業センター管理棟	二俣55-1	0137-85-1276	○	○	○	○	○	42m
K32	西丹羽・丹羽・東丹羽	丹羽活性化センター(水仙パレス)	丹羽5-7	0137-84-5211	○	○	○	○	○	15m
K33		旧玉川小学校	丹羽1-5	—	○	○	○	○	○	15m
K34		檜山北高等学校	丹羽360	0137-84-5331	○	○	○	○	○	24m
K35	小倉山	旧小倉山小学校	小倉山567	—	○	○	○	○	○	163m

番号	地区	施設名	住所	電話番号	洪水	土砂災害	高潮	津波	広域火災	海拔
S1	瀬棚区市街地	瀬棚総合福祉センターやすらぎ館	本町948-7	0137-87-3841	○	○	○	○	○	11m
S2		瀬棚ふれあいセンター	共和590-4	0137-87-2110	○	×	○	○	○	64m
S3		瀬棚小学校	本町513-1	0137-87-3064	○	○	○	×	○	5m
S4		瀬棚中学校	共和404-1	0137-87-3104	○	○	○	○	○	36m
S5		せたな町B&G海洋センター体育館	本町559	0137-87-3236	○	×	○	○	○	9m
S6		せたなスポーツ広場	本町559	—	○	×	○	○	○	9m
S7		三杉球場	本町559	—	○	×	○	○	○	7m
S8		瀬棚町民センター	本町638	0137-87-2239	○	○	○	○	○	7m
S9		瀬棚老人と母と子の家	本町767	0137-87-3369	○	○	○	○	○	9m
S10		瀬棚水産物保管作業所	三本杉69	0137-87-3635	○	×	○	×	○	7m
S11	元浦	元浦地区避難所	元浦105	—	○	×	○	○	○	19m
S12		元浦漁村センター	元浦439	0137-87-3813	○	○	○	×	○	9m
S13		稲荷神社境内	元浦446	—	○	×	○	○	○	13m
S14	島歌	旧島歌小学校	島歌193	—	×	×	○	×	○	10m
S15		白岩漁村センター	島歌165-2	0137-87-3385	×	×	○	×	○	5m
S16		吹込青年研修所	島歌343	0137-87-2691	○	×	○	×	○	7m
S17		島歌生活館	島歌373	0137-87-3383	○	×	○	×	○	6m
S18	北島歌	北島歌青年研修所	北島歌58	0137-87-3382	○	×	○	○	○	13m
S19		北島歌へき地保健福祉館	北島歌357	—	○	×	○	×	○	7m
S20		旧須築小学校グラウンド跡地	北島歌283	—	○	×	○	×	○	7m
S21	共和	共和生活改善センター	共和312	0137-87-3748	×	○	○	○	○	10m
S22	東・西大里	馬場川小学校	西大里310-4	0137-87-2081	○	○	○	○	○	63m
T1	太田	太田地区防災センター	太田82	—	○	×	○	○	○	44m
T2	富磯	富磯生活館	富磯61-9	01398-4-6420	○	○	○	○	○	21m
T3	上浦・都本陣・久遠(西部)	大成町民センター	都425	01398-4-5511	○	○	○	○	○	37m
T4		久遠小学校	都366	01398-4-5018	○	○	○	○	○	37m
T5		大成中学校	都421	01398-4-5047	○	○	○	○	○	36m
T6		大成農漁村総合センター	都387	—	○	×	○	○	○	36m
T7	久遠(東部)	丸山団地広場	久遠311-71	—	○	○	○	○	○	42m
T8		東部ことぶきの家	久遠357-2	01398-4-6461	○	×	○	○	○	14m
T9	花歌	花歌生活館	花歌168-2	01398-4-5877	○	×	○	○	○	19m
T10	宮野	特別養護老人ホーム 大成長生園	宮野525-2	01398-4-6411	○	×	○	○	○	20m
T11	平浜	旧平田内小学校	平浜385	—	○	×	○	×	○	6m
T12	貝取淵	国民宿舍あわび山荘	貝取淵388	01398-4-5522	○	×	○	○	○	15m
T13	長磯	旧長磯小学校	長磯456	—	○	×	○	○	○	29m